



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 335-B

CABINET OFFICE : 2F, 4-48, KAWARAMACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0048, JAPAN
TEL (06) 6222-7331 FAX (06) 6222-7336

第1回キャビネット会議 次第

2025年7月29日(火)

14:00~17:00

於: ホテル日航大阪

<司会>キャビネット幹事 江 川 昌 克

1. 開会並びに開会ゴング 地区ガバナー 笹 部 美千代
2. 国旗に敬礼
3. 出席者紹介(資料1)
4. 地区ガバナー挨拶 地区ガバナー 笹 部 美千代
5. 元国際理事挨拶 元国際理事 城 阪 勝 喜
6. 感謝状贈呈
7. 第107回オランダ国際大会報告並びに国際会長方針・地区運営方針(資料2・3)
地区ガバナー 笹 部 美千代
8. 報 告 事 項
 - ① 地区年間行事(資料4-A・B)
 - ② 特別委員会(資料5-A・B・C)
 - ③ その他報告(資料6・7)
9. 議 事
 - ① キャビネット会計予算の件(資料8-A・B)
 - ② キャビネット旅費・交通費規程、慶弔規程の件(資料9-A・B)
 - ③ 取引銀行承認の件
 - ④ LCIF地区シェアリング交付金報告書承認の件(資料10)
 - ⑤ LCIF地区シェアリング交付金申請の件(資料11)
10. 335複合地区コーディネーター並びに委員長報告(MD-1~3)
11. 各リジョンの運営方針(資料R-1~12) 各リジョン・チェアパーソン
12. 各種委員会活動方針(資料C-1~17) 各 種 委 員 長
13. そ の 他
14. 閉会並びに閉会ゴング 地区ガバナー 笹 部 美千代

第1回 キャビネット会議出席者名簿

元 国 際 理 事	しろさか	か つ き	(大 阪 港)	キャビネット幹事	え が わ	まさかつ	(岸和田コスモス)
地 区 ガ バ ナ ー	城 阪	勝 喜			江 川	昌 克	
	さ さ べ	み ち よ	(岸和田コスモス)	キャビネット会計	じょうがん	ま り こ	(岸和田コスモス)
	笹 部	美 千 代			成 願	眞 理 子	
LCIFエリアリーダー-西日本	な つ	ゆうみん	(大阪天王寺高津)				
	夏	有 民					
335複合地区GMTコーディネーター 元地区ガバナー・名誉顧問	にしお	よしのり	(大 阪 北)	みらいへコーディネーター	し も の	た つ や	(四 條 畷 中 央)
	西 尾	良 典			下 農	達 也	
335複合地区GETコーディネーター 元地区ガバナー・名誉顧問	まさおか	あ き ら	(吹 田 江 坂)	GMTコーディネーター	い た や	まさふみ	(大阪すみのえ)
	正 岡	章			板 谷	雅 史	
335複合地区アラートコーディネーター 元地区ガバナー・名誉顧問 (一社)日本ライオンズアラート委員	つ だ	かつゆき	(大 阪 桜 之 宮)	WYPTコーディネーター	みやがわ	み ね こ	(島 本)
	津 田	勝 之			官 川	峰 子	
3 3 5 複 合 地 区 LCIF副コーディネーター	おかだ	たかひこ	(藤 井 寺)	GETコーディネーター	おおやま	こうじろう	(大 阪 桜 之 宮)
	岡 田	隆 彦			大 山	広 二 郎	
前地区ガバナー・ 名誉顧問会議長	ふるかわ	しげひろ	(堺)	GLTコーディネーター	きたかど	つ よ し	(枚 方)
	古 川	繁 浩			北 角	強	
第1副地区ガバナー	ほ り	よしゆき	(茨 木)	GSTコーディネーター	さ の	けいいち	(大阪すみのえ)
	堀	典 之			佐 野	圭 一	
第2副地区ガバナー	そ ご う	こうすけ	(枚 方 ロ ーズ)	LCIFコーディネーター	ほ ん ぼ	し ん じ	(四 條 畷 中 央)
	十 河	宏 輔			本 保	真 司	
335 複 合 地 区 会 則 委 員 長 335複合地区元ガバナー協議会議長 元地区ガバナー・名誉顧問 (一社)日本ライオンズ会則委員	なかに	とよしげ	(岸 和 田)	MCコーディネーター	なかうえ	あきひこ	(能 勢)
	中 谷	豊 重			中 植	昭 彦	
3 3 5 複 合 地 区 レオ委員長	おおつか	じゅんこ	(大 阪 コ ス モ ス)	アラートコーディネーター	まつもと	と し こ	(大 阪 マ ー ガ レ ッ ト)
	大 塚	純 子			松 本	杜 史 子	
335 複 合 地 区 万 博 委 員 長 335複合地区元ガバナー協議会議長 元地区ガバナー・名誉顧問	かきはら	かつひこ	(高 槻)	青少年育成コーディネーター	やました	ひろし	(岸 和 田)
	柿 原	勝 彦			山 下	大	
335複合地区元ガバナー協議会議長 元地区ガバナー・名誉顧問	よしむら	ひろよし	(和 歌 山)	YCE・レオコーディネーター	も り た	しげとし	(池 田)
	吉 村	弘 吉			森 田	茂 稔	
元地区ガバナー・ 名誉顧問	な か た	かつあき	(大 東)				
	中 田	勝 昭					
	か の う	ひ さ お	(堺)	1 R R C	かわきた	ひろゆき	(大 阪)
	加 納	久 雄			川 北	浩 之	
	なかむら	ふ さ お	(泉 大 津)	2 R R C	中 田	しょうり	(大 阪 帝 陵)
	中 村	房 雄				勝 利	
	こだま	た か し	(大 阪)	5 R R C	みちひろ	しゅうじ	(池 田)
	児 玉	隆			道 廣	修 二	
	よしだ	ひ ろ む	(豊 中 千 里)	6 R R C	な か お	ひ と し	(摂 津)
	吉 田	宏			中 尾	斉	
	か ん	は る み	(八 尾)	7 R R C	ひがしの	けいいち	(堺 仁 徳)
	菅	春 水			東 野	景 一	
	きたはた	ひ で き	(八 尾 菊 花)	8 R R C	かたぶち	あきひと	(岸 和 田 中 央)
	北 畑	英 樹			片 渕	昭 人	
	なかむら	た け し	(枚 方)	9 R R C	こ だ ま	かずひさ	(和 歌 山)
	中 村	猛			児 玉	和 久	
	かわの	ひろし	(大 阪 す み の え)	10 R R C	いけがみ	じゅんいち	(新 宮)
	川 野	浩 史			池 上	順 一	
	た な か	としろう	(泉 大 津)	11 R R C	さかきばら	け い た	(東 大 阪 大 東 畷)
	田 中	敏 朗			榊 原	啓 太	
				12 R R C	ひ ら た	よしゆき	(大 阪 狹 山)
					平 田	佳 之	
ミッション1.5女性会員 特別チームメンバー	たかはし	か ず こ	(堺 フェ ニ ッ ク ス)				
	高 橋	か ず 子					
	さ ば え	と し こ	(茨 木 ハ ー モ ニ ー)				
	鯖 江	敏 子					

1 R 1 Z Z C	しろさか城 阪	せんたろう千太郎	(大 阪)	M C 委 員 長	にしかわ西 川	さ と し聡	(東 大 阪 楠)
1 R 2 Z Z C	む ら た村 田	よしのり喜 徳	(大 阪 中 央)	ア ラ ー ト 委 員 長	さ か い坂 井	せ い じ征 司	(守 口)
2 R 1 Z Z C	つじもと辻 本	くにひろ邦 廣	(大 阪 難 波)	ライオンズクエスト委員長	き だ木 田	た け し剛	(枚 方 ロ ー ズ)
2 R 2 Z Z C	こ だ ま児 玉	まさふみ昌 文	(大 阪 阿 倍 野)	薬物乱用防止委員長	くりやま栗 山	ま さ る大	(摂 津)
5 R 1 Z Z C	みやじま宮 島	しげなり繁 成	(豊 中 中 央)	Y C E 委 員 長	さかたに阪 谷	まさあき匡 亮	(羽 曳 野)
5 R 2 Z Z C	ふちがみ淵 上	よしひこ嘉 彦	(箕 面 船 場)	レ オ 委 員 長	や ま だ山 田	やすひろ泰 弘	(富 田 林)
6 R 1 Z Z C	は ら だ原 田	つ よ し強	(茨 木 オ ー ク)	ライオンズ慰霊委員長	え が わ江 川	ひろあき弘 章	(和 歌 山)
6 R 2 Z Z C	きたがわ北 川	みつあき光 昭	(寝 屋 川 中 央)	国際関係・大会参加委員長	たかまつ高 松	じゅんいち順 一	(茨 木)
7 R 1 Z Z C	ありみつ有 満	あきひこ昭 彦	(堺 陵 東)	年 次 大 会 委 員 長	たけもと竹 本	よしみつ泰 三	(岸和田コスモス)
7 R 2 Z Z C	は ま だ濱 田	ち あ き千 秋	(いずみそれいゆ)				
8 R 1 Z Z C	わ だ 和田	よ し じ嘉 治	(岸和田千亀利)	G M T 委 員 長 補 佐	ほりなか堀 中	まさのり政 則	(堺 陵 東)
8 R 2 Z Z C	やぶうち薮 内	くによし邦 義	(泉 南 中 央)				
9 R 1 Z Z C	さかぐち阪 口	みちひろ倫 博	(紀 州 葵)	G E T ア ド バ イ ザ ー	く し じ 串 島	ひではる秀 治	(大阪みおつくし)
9 R 2 Z Z C	しまもと嶋 本	まさみつ雅 光	(和歌山くろしお)				
10 R 1 Z Z C	たにもと谷 本	む ね き宗 城	(御 坊 中 央)	会 計 監 査 委 員	よ し だ吉 田	としあき敏 明	(大 阪 北)
11 R 1 Z Z C	い け だ池 田	かずひろ和 弘	(東大阪菊水)		し ば 芝	よしのぶ吉 信	(和歌山中央ゴールド)
12 R 1 Z Z C	わたなべ渡 邊	ひでよし英 宜	(松 原)				
12 R 2 Z Z C	かわい河 合	よ う じ洋 次	(河 内 長 野)	キャビネット委員リーダー	か め だ亀 田	だいすけ大 輔	(茨 木)
みらいへ委員長	きたの北 野	ひろし博	(下 津)		しろおか城 岡	さ と し論	(枚 方 ロ ー ズ)
みらいへ委員	おがわ小 河	ま も る守	(大 阪 中 央)		ちようさ帖 佐	あ き や彰 也	(岸 和 田 中 央)
	に っ た新 田	ひでゆき秀 幸	(大阪なみはや)	キャビネット委員(映像チーム)	い ば 射 場	たかひろ隆 裕	(泉 佐 野 中 央)
	えのもと榎 本	じゅんいち淳 一	(紀 伊 田 辺)		くろいわ黒 岩	だ い ち大地	(吹 田 江 坂)
	い し い石 井	た も ん多 聞	(八 尾 菊 花)		しもたに下 谷	りゅうま竜 磨	(吹 田 江 坂)
					し ば 柴 田	ま こ と睦	(吹 田 江 坂)
					た ま だ玉 田	しょうた翔 太	(貝 塚)
G M T 委 員 長	こうの河 野	な お き尚 樹	(堺 陵 東)	キャビネット委員	さいしよ宰 所	ひろしげ広 繁	(大 阪 天 満)
W Y P T 委 員 長	もりぐち森 口	み よ こ美代子	(高槻グリーン)		たけもと武 本	じょうじ錠 治	(大阪桜之宮)
G E T 委 員 長	みずおち水 落	けんたろう健太郎	(大 阪 中 央)		い ぬ い乾	な つ き菜 月	(大 阪 中 央)
G L T 委 員 長	とくはら徳 原	やすひろ安 洋	(東 大 阪)		みやうら宮 浦	き よ み清 巳	(大阪すみよし)
会 則 委 員 長	ふじおか藤 岡	そ う 宗	(大 阪 中 央)		やまもと山 本	ひろゆき洋 行	(茨 木)
G S T 委 員 長	まつもと松 本	な お き直 樹	(豊 中)		あ さ だ浅 田	こうじ浩 志	(茨 木)
L C I F 委 員 長	おかだ岡 田	いっぺい一 平	(大阪みおつくし)		た し ろ 田 代	と し み俊 美	(茨 木)

キャビネット委員

たかい	かずみ	(茨 木)
くらもと	ようこ	(高槻グリーン)
倉本	葉子	(枚方ローズ)
まえだ	ひろたか	(枚方ローズ)
前田	浩貴	(枚方ローズ)
ただ	りょういちろう	(枚方ローズ)
夢田	良一郎	(枚方ローズ)
い	ない	(枚方ローズ)
稲井	おさむ	(枚方ローズ)
かわもと	たいせい	(枚方ローズ)
河本	大成	(枚方ローズ)
やまもと	たかまさ	(交野おりひめ)
⓪山本	崇正	(交野おりひめ)
きくかわ	まこと	(堺登美丘)
菊川	真	(堺登美丘)
い	しい	(堺フェニックス)
石井	けいこ	(堺フェニックス)
むらかみ	みえこ	(いずみそれいゆ)
村上	美栄子	(いずみそれいゆ)
おぎの	けいichi	(岸和田)
荻野	景一	(岸和田)
しいば	たかし	(岸和田千亀利)
椎葉	貴志	(岸和田千亀利)
ま	き	(岸和田コスモス)
横	かな	(岸和田コスモス)
やまもと	しょうじ	(岸和田コスモス)
山本	祥司	(岸和田コスモス)
しんどう	やすひさ	(泉南中央)
新堂	泰久	(泉南中央)
なるこ	としお	(岬)
⓪成子	年男	(岬)
なかむら	みほ	(東大阪布施)
中村	聖保	(東大阪布施)
か	に	(柏 原)
可児	ひろひと	(柏 原)
博仁		

GMT・WYPT委員

は	つ	た	よしひろ	(大 阪)
八	田	善	博	(大 阪)
もりもと	森	本	ひであき	(大阪福島)
つじな	中	中	ひろとし	(豊 中)
辻	中	弘	敏	(豊 中)
は	ら	だ	しげゆき	(交野おりひめ)
原	田	重	幸	(交野おりひめ)
や	ぎ	木	ひろあき	(堺 陵 東)
八	木	弘	晃	(堺 陵 東)
さ	さ	き	ひろし	(岸和田中央)
笹	木	博	志	(岸和田中央)
く	ま	い	ともかず	(那 賀)
熊	井	智	一	(那 賀)
て	ら	ま	まさかず	(新 宮)
寺	前	正	和	(新 宮)
つき	や	ま	よしかず	(東 大 阪)
築	山	義	一	(東 大 阪)
な	か	お	ゆきや	(堺 美 原)
中	尾	幸	也	(堺 美 原)

GLT・会則委員

あ	だ	ち	た	かし	(大 阪 生 野)
足	立	隆			(大 阪 生 野)
よしむら		みのる			(大阪阿倍野)
⓪吉村		実			(大阪阿倍野)
た	な	か	さ	とし	(箕 面)
田	中	聡			(箕 面)
みやもと		しんいち			(茨 木)
宮本		伸一			(茨 木)
ひ	だ	か	まさ	と	(泉 大 津)
日	高	正	人		(泉 大 津)
ほ	り	しんいち			(岸和田千亀利)
堀		伸一			(岸和田千亀利)
まえは	ら	ひ	で	き	(紀 州 葵)
前	原	秀	紀		(紀 州 葵)
ま	な	ご	あ	き	(富 田 川)
真	砂	昭			(富 田 川)
こ	ば	やし	か	な	(東 大 阪 楠)
小	林	加	奈		(東 大 阪 楠)
い	しば	し	やす	え	(羽 曳 野)
石	橋	安	恵		(羽 曳 野)

G S T 委 員

き	む	ら	ひ	とし	(大 阪)
木	村	仁			(大 阪)
なか	が	わ	ま	こと	(大 阪 港)
中	川	恂			(大 阪 港)
⓪	お	お	は	た	(北 摂 未 来)
大	橋	樹			(北 摂 未 来)
は	ら	だ	よう	ぞう	(枚方シニア)
原	田	陽	造		(枚方シニア)
なか	む	ら	まさ	ゆき	(堺 浜 寺)
中	村	誠	幸		(堺 浜 寺)
つ	じ	ひろ	こ		(岸和田コスモス)
辻		寛	子		(岸和田コスモス)
た	け	な	ひ	さ	(有 田)
竹	中	久	善		(有 田)
い	ず	み	た	だ	(田 辺)
泉		忠	男		(田 辺)
な	か	も	けい	すけ	(東 大 阪)
中	本	圭	介		(東 大 阪)
お	の	も	と	ひろ	(八 尾)
小	野	元	裕		(八 尾)

L C I F 委 員

か	み	た	な	お	き	(大 阪 中 央)
上	谷	直	樹			(大 阪 中 央)
や	ま	う	よ	し	こ	(大阪CONNECT)
山	内	祥	子			(大阪CONNECT)
お	お	み	かつ	ひ	さ	(豊 中 北)
大	道	勝	久			(豊 中 北)
き	つ	き	ひ	で	お	(高 槻)
木	槻	英	夫			(高 槻)
く	ぼ	とも	ひ	さ		(堺 登 美 丘)
久	保	智	久			(堺 登 美 丘)
す	ず	き	は	じ	め	(泉 佐 野 中 央)
鈴	木	一				(泉 佐 野 中 央)
き	び	まり	こ			(和 歌 山)
吉	備	万里	子			(和 歌 山)
お	や	と	く	ひ	さ	(勝 浦)
尾	屋	徳	久			(勝 浦)
⓪	た	に	ぐ	ち	き	(東 大 阪 東)
谷	口	清	治			(東 大 阪 東)
⓪	し	ま	だ	みつ	ひろ	(八 尾 菊 花)
島	田	満	弘			(八 尾 菊 花)

M C 委 員	しんむら	ま も る	Y C E ・ レオ委員	くらもと	ともひろ	(大阪桜之宮)					
	新 村	守		蔵 本	倫 大						
	さ と う	いっせい		ほそいど	ま み		(大阪すみよし)				
	佐 藤	一 聖		細 井 戸	眞 美						
	あきはら	けんいち		な か お	か つ お			(豊 中 南)			
	明 原	健 一		ⓧ中 尾	克 雄						
	ⓧわ だ	まさひと		わきざわ	は じ め				(茨木オーク)		
	和 田	賢 人		脇 澤	元						
	うえはら	りょうたろう		は や し	け ん じ					(和 泉 中 央)	
	上 原	竜 太 郎		林	健 次						
	おかもと	あ き ら		みぞばた	け い じ						(貝 塚)
	岡 本	晃		溝 端	啓 二						
おおにし	かずのり	な か お	かずひら	(有 田)							
大 西	寿 慶	中 尾	一 平								
しょうだ	み つ ぐ	た な か	しんろん		(紀伊田辺)						
小 田	貢	田 中	真 論								
やました	しょうご	たるもと	じょうじ			(四條曙中央)					
山 下	正 悟	樽 本	丞 史								
ふ じ た	しょういち	ひがしうら	こう じ				(富 田 林)				
藤 田	章 一	ⓧ東 浦	幸 司								

ア ラ ー ト 委 員	や じ	ゆ か り	ライオンズ慰霊委員	さいとう	た け し	(大阪桜之宮)					
	家 治	由 湘 里		齋 藤	猛						
	なかむら	て つ や		くわはら	こういち		(大阪すみのえ)				
	中 村	哲 也		桑 原	浩 一						
	みやした	み き お		か ん だ	の ぶ と			(豊中千里)			
	宮 下	美 紀 夫		神 田	信 人						
	と や ま	のぶあき		ふくなが	としたか				(守 口)		
	戸 山	伸 章		福 永	敏 隆						
	あ ず ま	た え こ		あ か し	かつゆき					(堺 仁 徳)	
	東	妙 子		明 石	勝 幸						
	さかはら	ひろのり		おおにし	しんいち						(岸 和 田)
	坂 原	寛 則		大 西	信 一						
ひ ら の	こうぞう	みちうえ	かずひろ	(伊都高野山)							
平 野	耕 造	ⓧ道 上	和 弘								
さかもと	まさかず	こ も り	せいごう		(串 本)						
ⓧ坂 本	正 和	小 森	正 剛								
だいとう	まさひこ	きたぐち	かつゆき			(東大阪大東曙)					
大 東	昌 彦	北 口	勝 進								
よ こ お	しげのり	の せ	た い ら				(松 原)				
横 尾	臣 則	野 瀬	泰 良								

青 少 年 育 成 委 員	はたなか	ひろし		2024～2025年度	しもかわ	よしたか	
	畑 中	洋 司	(大 阪)	キャビネット幹事	下 川	好 隆	(堺)
	さだやま	みつらく		2024～2025年度	さ だ	まさゆき	
	定 山	光 洛	(大阪なみはや)	キャビネット会計	定	正 幸	(堺)
	くまうち	あきひろ					
	熊 内	章 浩	(吹 田 江 坂)				
	おおつか	ともあき					
	大 塚	智 明	(高槻グリーン)				
	しらさき	のりたか					
	白 崎	識 隆	(堺)				
	やぶの	りょう					
	⑤ 藪 野	亮	(岸和田UNITY)				
ふじもと	しげのり						
藤 本	茂 典	(下 津)					
つじむら	まさひろ						
辻 村	昌 宏	(御 坊)					
みやはら	たかし						
宮 原	孝 司	(東大阪菊水)					
みよし	なおと						
三 好	直 人	(藤 井 寺)					

A.P. シン

国際会長

2025－2026年度

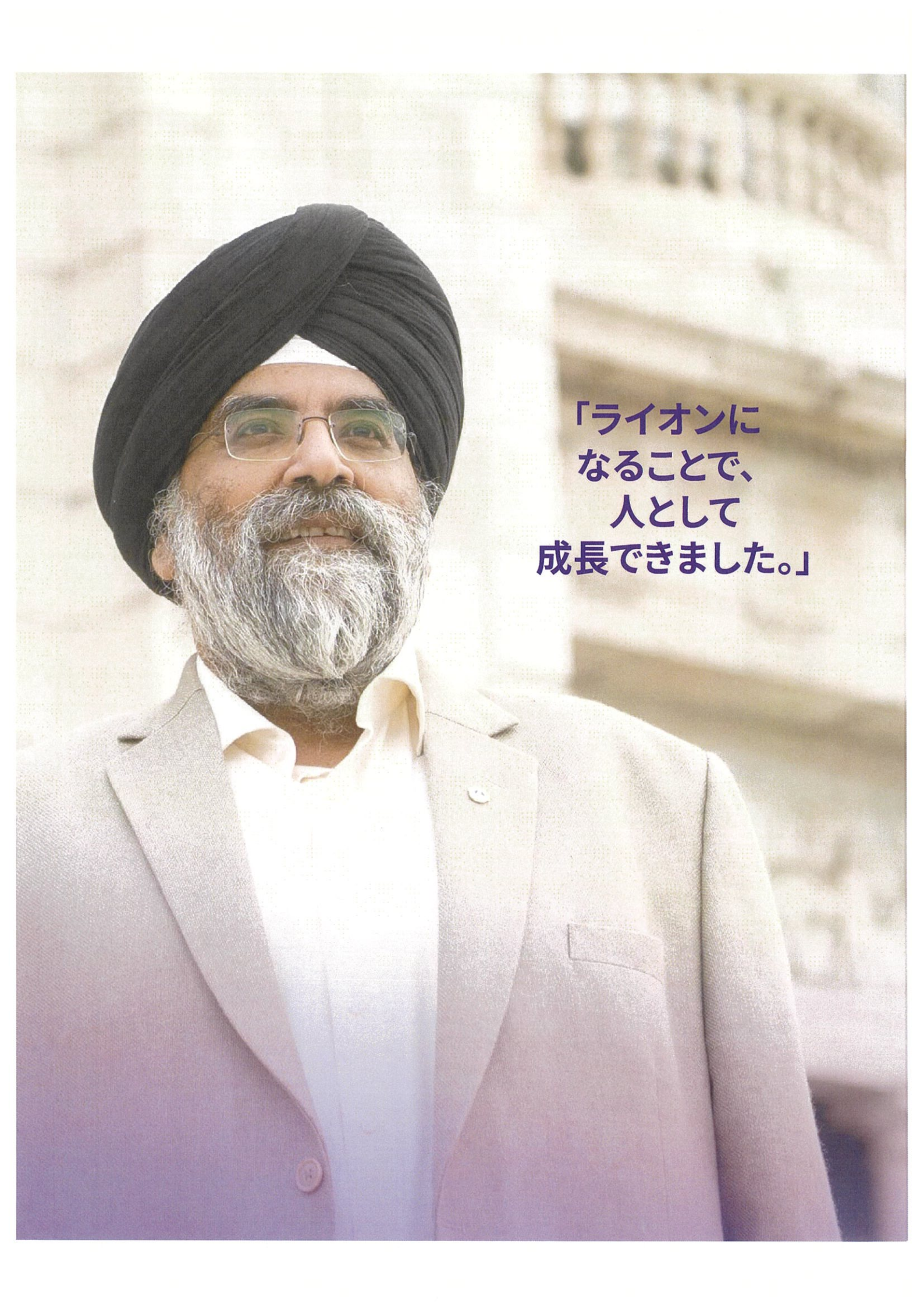


リーダーシップこそ奉仕、 奉仕こそリーダーシップ。



この世界を、私たちが受け継いだ時よりよいものにして、次の世代に残したい。力を合わせて行う奉仕が、それを可能にします。

そして、会員を増やすことで、私たちの奉仕はもっと拡大できます。



「ライオンに
なることで、
人として
成長できました。」

● ● ● ● ● 彼の世界を形造ったもの

A.P.シンの故郷インドは、他に類を見ない国だ。インドは人類文明発祥の地であり、その文化の起源は数千年前にさかのぼる。そんな悠久の歴史にもかかわらず、現代インドはこれまでにない若さと繁栄に満ち溢れている。

コルカタで生まれたA.P.は、詩人タゴールの夢を胸に抱いて育った。

心には恐れがなく 首をすくめることのないところ
世界が狭き内政の壁に 分かつたことのないところ
澄みきった理性のせせらぎが
死せる因習の砂漠に迷い込むことのないところ
そのような自由の聖域へと、我が父よ、
我が祖国を目覚めさせたまえ

そしてこれこそ、A.P.がライオンとして掲げるビジョンだ。

彼は、奉仕とリーダーシップは表裏一体であると信じている。ライオンズは、偉大なリーダーになろうと努力するのではなく、ただ全力で人のために奉仕をしようとする。その奉仕の結果、ライオンズは偉大なリーダーへと成長するのだ。

この奉仕とリーダーシップの融合が、私たちが**サーバントリーダーシップ**というより崇高な境地へと導くものであり、A.P.は、これこそが私たちの組織の目指すべき姿だと考えている。

そういう意味では、彼をライオンズに導いたのは、運命だったのかもしれない。

「ライオンになって、私は人として成長できました」と彼は言う。「そしてライオンとして生きる中で、自分には他者に対する義務があることに気づかされました。ありが

たいことに、それを実行する手段も同時に与えられたのです」。

A.P.に影響を与えたのは、故郷で身につけた分かち合いの原則と、ハリール・ジブラーンの思想だ。

あなたが自分の持ちものを与えるなら、まだ少ししか与えていない。

自分自身を与えてはじめて、真に与えたといえる。

自分の井戸が満たされているときにおぼえる渇きへの恐れは、決して満たされることのない渇きではないか？ それゆえ、今すぐ与えなさい。与える季節があなたのもとなり、あなたの相続人のものにはならないように。あなたはしばしば言う、「与えるつもりはある、ただし受けるに値する者にのみ」と。

あなたの果樹園の木々はそうは言わない。あなたの牧場の群れもそうは言わない。

彼らは生きるために与える。出し惜しむことは減じることだからである。

日々夜々を与えられている者が、あなたからその他のすべてを受けるに値しないはずがあろうか。

生命の海から飲むことを許された者が、あなたの小さな流れで杯を満たすことを許されないはずがあろうか。

A.P.の価値観のルーツがインドだったとすれば、A.P.の奉仕の人生が動き出した場所はライオンズだ。インド人の心とグローバルな精神を両方持ち合わせた今の彼は、異文化環境の中で、**ミッション1.5**時代を迎えたライオンズを発展させる準備ができている。

サーバントリーダーとして、A.P.はライオンズの声に耳を傾け、その上で世界のライオンズの代弁者となり、自らが最初の奉仕者（サーバント）として行動したいという強い思いに駆られている。

ライオンズ拡大のビジョン

他の多くのライオンズと同様、A.P.もライオンとして歩み始めた当初は、自分のクラブと地域社会だけに目を向けていた。しかし、世界各地のライオンズフォーラムや大会に参加し、そこで出会ったライオンたちと親睦を深めるなかで、徐々にグローバルな視点で物事を見るようになった。

世界は多様性に富んでいるが、国際理解のための架け橋を築き、地域社会で奉仕することの重要性においては共通している。

世界中のすべての地区を拡大する必要があること、そして力を合わせればそれが可能であることを、A.P.は確信している。

A.P.は言う。「人がいなければ、組織は成り立ちません。」

奉仕のないライオンズクラブには意味がなく、成長しないライオンズ地区は協会への責任を果たしているとは言えない。私たちは伝統を絶やさず、奉仕の灯火を明るく燃やし続けなければならない。より多くの人々に奉仕できるよう、私たちは成長しなければならない。

A.P.は、会員を増やすことを — そしてそれによってもたらされる奉仕の増加を — 私たちが目指すべき最大の目標と考えており、新クラブを立ち上げ新会員を加えることが私たちの未来にとって不可欠であることを、ライオンズにはよく理解してもらいたいと願っている。

「道は二つに一つです。ここで連帯して成長を目指すか、あるいは弱り果て徐々に衰えゆく人

のようにゆっくりと滅びていくか」。ライオンズ・インターナショナルは人類への最高の贈り物であり、自然災害、糖尿病、小児がん、視力障害、気候変動などの社会問題によって立ちこめる絶望の暗雲に一条の光をもたらす存在だ。

A.P.は、ライオン一人ひとりに果たすべき役割と返すべき借りがあると信じている。

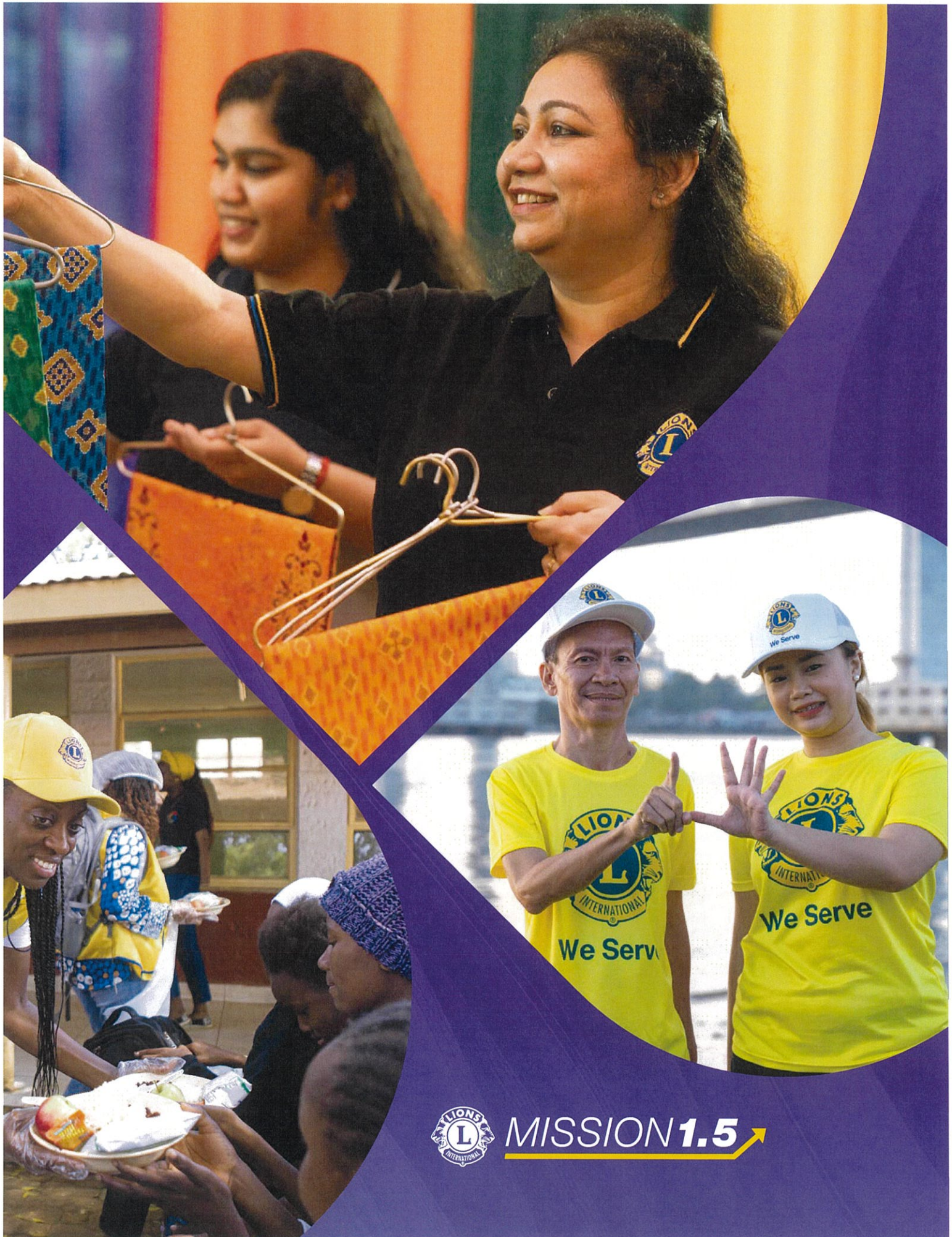
私たちは皆、誰かがライオンズに誘ってくれたから、今日ここにいる。私たちのクラブを結成しようと尽力してくれた人がいたからこそ、今日ライオンとして活動している。今度は私たちが地区に次のクラブを作る番だ。

こうして私たちの奉仕が成長する。こうして私たちの伝統が成長する。これこそが、世界中のライオンズがミッション1.5を通じてクラブと奉仕を成長させようと奮起している理由だ。

A.P.は、会員こそが中核だと考える。リーダーシップを揮うのも、奉仕をするのも、会員。

私たちを定義するのも、私たちを動かすのも、会員。そして私たちを前進させるのも会員だ。





MISSION1.5



.....

リーダーシップこそ奉仕、 奉仕こそリーダーシップ。

奉仕するとき、私たちは仲間のライオンズやレオとともに立ち上がります。世界の人々とともに立ち上がります。そして、私たちは思いやりという、奉仕する人全員の心を動かす原動力のために立ち上がります。

レオとレオライオンは、私たちの未来ではありません。私たちの今です。若者たちも大切な主役のひとりなのです。女性と若者には、力を発揮し成長できる空間と自由を与えなければなりません。

変化とは、待つものではなく、起こすものです。



「多様性は、組織に新鮮さと活力をもたらします。」

何であれ、価値あるものを築こうとするなら、チームワークと、意識的なアクション、そして情熱と使命感に突き動かされたリーダーシップが不可欠であることを私たちは知っています。それは、ライオンズだけが実現できるリーダーシップです。

組織を拡大してインパクトを高めるためには、私たち全員が協力しなければなりません。奉仕において世界をリードすることで、模範を示さなければなりません。ライオ

ンズが過去に成し遂げた偉大な業績は、常にたたえられるでしょう。しかし私たちは、協会を成長させることで、素晴らしい現在を確かなものとし、輝かしい未来を創出しなければならないのです。

ライオンズは、リーダーシップを発揮することで社会に奉仕し、奉仕をすることでリーダーシップを発揮するのです。



リーダーとして先頭に立ち、 より多くの手で奉仕を

私たちが奉仕するのは、世界をよくするため。私たちが拡大を目指すのは、その奉仕のインパクトをより大きいものにし、地域社会をより力強いものにし、私たちの未来をより確かなものにするためです。これこそが、ライオンズ・インターナショナルを世界最高峰のクラブ奉仕団体たらしめてきた理念です。

以下にご紹介するグローバル優先項目を推進することで、私たちはこれを率先して行うことができます。

クラブと奉仕を拡大する

ライオンズクラブは「みんなの団体」。ボランティアによる奉仕クラブ団体です。会員が増えることは、奉仕が強化・継続・拡大され、結果として世界の増え続けるニーズが満たされることを意味します。

どの国にも通貨がありますが、ライオンズ・インターナショナルの通貨は会員です。奉仕も、交流も、人脈作りも、PRも、資金獲得も、さらにはLCIFへの寄付までもが、ライオンズとそのクラブによって行われます。常に組織を強化し、入会者と退会者の比率を良好に保つ必要があります。ライオンズがいなければ奉仕は考え

られません。私たちの奉仕能力を高め、やむを得ない理由による会員減少を補うためには、会員とクラブを絶えず増やし続けるほかありません。私たちが未来の可能性を広げていく上で、成長は不可欠です。

会員を増やし、維持し、また新クラブを結成することでミッ
ッション1.5に貢献した会員、クラブ、地区には、年間を通じて表彰が行われます。国際協会を拡大成長させることは、すべてのライオンの暗黙の責任であり、選出または任命された役員一人ひとりの会則上の義務です。

ミッッション1.5は私たちの協会を動かすオペレーティングシステム(OS)であり、奉仕の帯域幅を広げるためには、



MISSION 1.5

「ミッション1.5は、あらゆるクラブをもっと力強く、もっと活気のあるものにし、あらゆる奉仕の行為をもっとインパクトのあるものにするためのものです。」

私たちのあらゆるリソースをその目標達成に集中させる必要があります。

ともに奉仕に力を

ライオンズがライオンズクラブ国際財団 (LCIF) を支え、LCIFが私たちの奉仕を支えます。この協力を通じて、私たちは奉仕を受ける人々や私たちの住む町に投資しているのです。協会と財団はともに、地域社会が直面する数々の大きな課題に長期的な解決策を見つけます。LCIFを支援することで、あなたもその解決策の一端を担うことができます。

LCIFは、企業、NGO、政府機関とのパートナーシップ構築を精力的に行っています。なぜなら、こうした協力関係が賢明かつ効果的な奉仕を行うカギとなるからです。

LCIFへの寄付は、安全と、安心と、よりよい明日への投資であると、A.P.は信じています。

奉仕に革新を

世界の課題に立ち向かうためには、まず自分自身に課題を課さなければなりません。イノベーションと、常に改善する姿勢を受け入れることで、私たちは活動のインパクトと、会員の満足度、そして奉仕の提供のすべてを向上することができます。

国連の持続可能な開発目標 (SDGs) から地区で特に力を入れたい項目を選び、さらにメンタルヘルス、環境保全、食料支援に集中的に取り組むグローバル奉

仕週間に合わせて事業を計画するよう地区内のすべてのクラブに奨励してください。

各種リーダー研修プログラムも、機会があるごとに組織拡大の重要性を強調するものへと改訂されています。

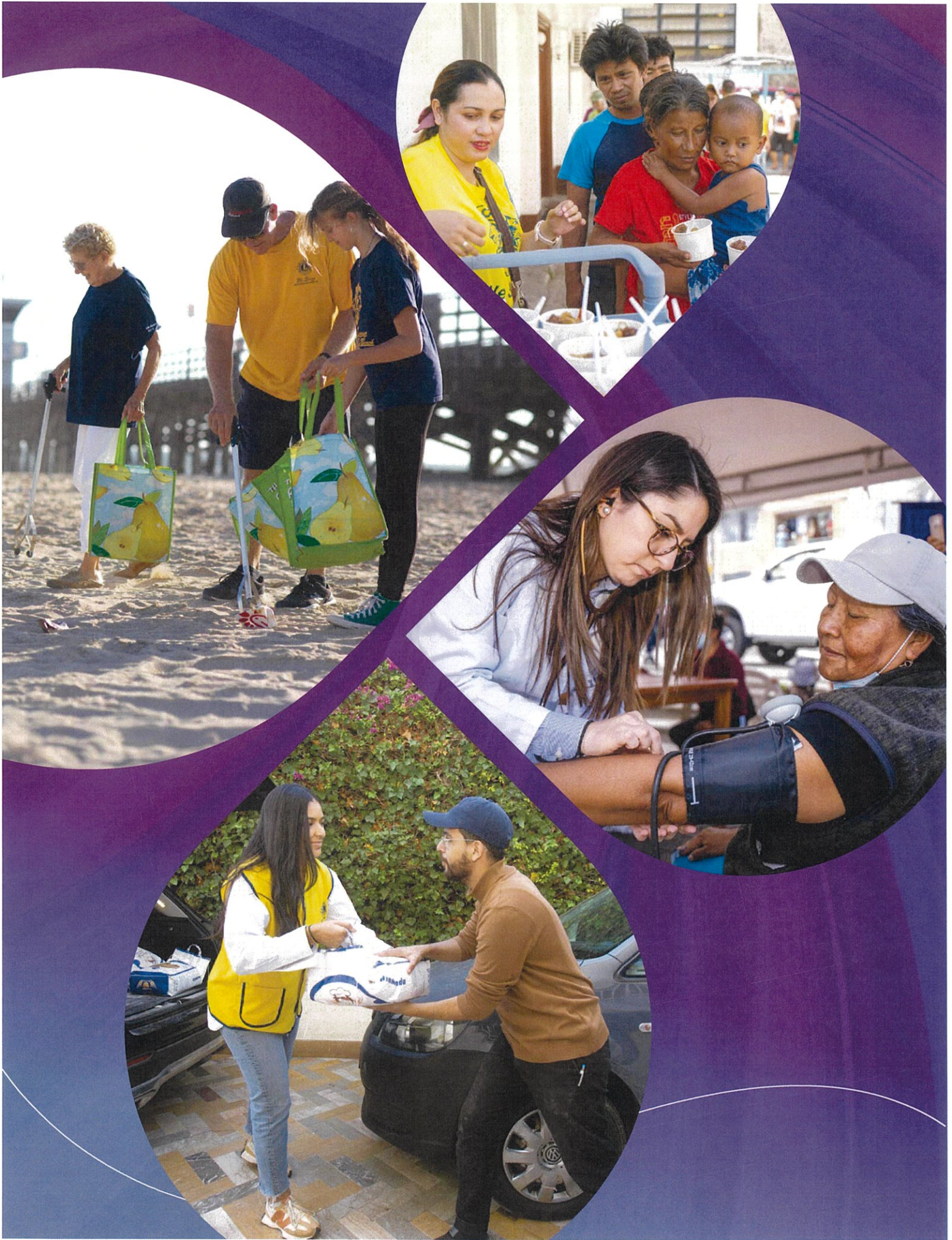
継続的な改善には終わりはありませんが、始めるべき時は今です。

多様性を歓迎し、皆を受け入れる

私たちは地球上のほぼすべての国で奉仕しています。ですから、ライオンズの奉仕には、もっと多くの人々、特に若者、女性、文化的背景の異なる人々を参加させる必要があります。インクルーシブな環境は、世界に奉仕し世界を反映する組織を作ります。

私たちは、すべてのクラブと地区の文化とアプローチを、若者と女性が参加しやすいものにしなければなりません。

あらゆる人種や性別のメンバーを誘うことが奨励されます。世界中に奉仕を届けているのですから、奉仕の心を持つ人全員に声をかけるべきです。





すべての奉仕が成功につながる

私たちの成功を決めるのは、奉仕です。以下は、奉仕でもっと大きな成功を収めるための主なステップです。

ネットワークを拡大する

世界中に広がるライオンズのネットワークは、世界を身近なものにしてくれます。会員として学び、成長し、つながり、奉仕する機会を目一杯活用して、ライオンズの持つ集合知と、多様な文化的視点、そして成功を自分のものにしましょう。

ライオンズは、ネットワークをさらに拡大することで、世界中で知識を積み上げ、架け橋を築くべきです。A.P.はまた、若い起業家を呼び込むために、できるだけ多くの地区で「ライオンズ・ビジネス・ネットワーク」を構築するよう奨励しています。さらに、奉仕ツーリズムの一環として、他の地区や、国内、海外などを訪問し、訪問先のライオンズと出会い、異なる地での成功事例を学んだり、自分の視点を分かち合うよう奨励しています。

自ら模範を示す

メンバーたちは、リーダーが言って聞かせることに従うのではなく、リーダーがやって見せることに従います。リーダーシップにおいて大切なのは、何人を従えられるかではなく、何人のリーダーを生み出せるかです。

すべての組織は時間とともに進化する必要があります。私たちは変革を促さねばなりません。なぜなら、昨日意味のあったことも、今日には意味を失っているかもしれないからです。相手の最大限を引き出す模範とな

り、それによって自分の最大限を引き出してください。そのためには学ぶこと、そして時には忘れることも必要かもしれません。

テクノロジーの進歩についていく

テクノロジーは今や私たちの暮らしの一部であり、奉仕のあり方を改善する新たな機会を生み出しています。若い世代の考え方には戸惑うこともあるかもしれませんが、彼らはデジタル接続が当たり前の環境で生まれ育った全く異なる世代であり、私たちは彼らの意見に柔軟に対応する必要が多分にあります。

組織の力は、その組織が使うテクノロジーと変容する世界への対応力に大きく左右されます。ライオンズはその長い歩みの中で、変化に対応し、成長してきました。今こそ、より多くの人に手を差し伸べてより大きな発展を遂げるために、クラブや地区で人工知能 (AI) の力も取り入れるべき時です。

テクノロジーを受け入れ、その進化に歩調を合わせれば、あらゆるレベルの活動にメリットがあり、若い世代のボランティアともよりよく繋がれます。ですから、私たちの前進と発展のためにこうしたツールを活用しましょう。私たちのマントラは、「すべてのライオンが、リーダーとなり、奉仕をし、成長を目指す」です。



We Serve

**Lead to Serve, Serve to Lead.
リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。**

2025～2026 地区ガバナー所信

笹 部 美千代

奉仕の愛を拡げましょう

～未来への架け橋～

世界情勢はめまぐるしく変化しています。また、コロナパンデミックという未曾有の困難を経験しながらも、ライオンズクラブの奉仕活動はたゆまなく続いてきました。そこには、ライオンズメンバーが力を合わせ、自分たちの誇りを守ってきたことにあると信じています。

私は、奉仕の愛を大切にし、世界一の奉仕団体である誇りを胸に、ライオンズクラブの目的やモットーを体現し続けます。私たちは、常にニーズのあるところに寄り添い、支援を必要とする人々の元へ活動を届けたいと思います。そのためにも、多くの担い手を増やし、奉仕の愛を拡げ、より大きな力で社会貢献を果たしたいと考えます。さらに、奉仕の輪を広げるために、他団体との提携や協力を通して奉仕のファンづくりを推進します。現状に満足することなく、常にチャレンジ精神を持ち、一歩ずつ前進する「チャレンジプラス1」の姿勢を貫いて参ります。

☆今期目標チャレンジプラス1の4つの柱として、
プロジェクト4

- ①学生会員と共に奉仕の拡大を目指します。
- ②プラチナ会員制度で会員維持を目指します。
- ③ライオンズオリジナルブランド「レモノワ」を構築し、LCIF寄付金HEART100につなげ、新しい奉仕の形であるファンドレイジングとして推進します。
- ④地区シェアリング交付金活用で、園児への防災グッズを提供致します。
更に、三か年計画プロジェクトとして、リジョン・ゾーンの編成によるクラブの強靱化を図りながら、組織としての拡大を推進致します。

☆第6回オセアルレオフォーラム成功に向けて

日本初のオセアルレオフォーラム開催が決定し、335複合地区協力体制で臨みますが、りんくうタウンが開催地であるため335-B地区が主幹となります。オフィシャルスポンサーとしてフォーラム成功につなげるよう地区全体で協力して参ります。皆様のご支援ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

友愛と相互理解の精神を大切にし、思いやりを持って互いに尊重しながら、サーバントリーダーとして未来につなげるための架け橋となる地区運営を進めて参ります。共に助け合い、共に成長し、共に未来をつなぐ、私はこの信念のもと、私たちのストーリーを伝えるため、誠心誠意取り組んで参ります。皆様のご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。



2025~2026
地区ガバナー
スローガン

奉仕の愛を
拡げましょう

未来への架け橋

ライオンズクラブ国際協会
335-B地区
地区ガバナー
笹部美千代



地区ガバナーピンへの思い

335-B地区

大阪府の花「桜草」

和歌山県の花「梅」

岸和田コスモスLC

「コスモス」

大きな愛と思いやりをもって

メンバー全員の協力で地区を盛り上げたい！



Challenge プラス1

組織運営について

ペーパーレスの継続

IT化の推進で事務作業の効率

アプリの導入による見える化



未来への架け橋のために Challenge プラス1

Power of we (会員拡大)

Power of service (奉仕の力)

Power of action (実行力)



Power of Value (価値)

ライオンズクラブのブランド 価値を高めるために

～信頼される奉仕団体をめざして～

なぜ 「ブランド 価値」が 大切か

ライオンズクラブの活動が、社会にどう見られ、どう受け止められるのか。

「信頼」「共感」「参加したい」と思われる存在になるために。

社会や地域に必要とされる奉仕を。

若者や女性が共感できる活動

語ろう、ライオンズの誇りを。

SNSやニュースを活用して、活動を発信

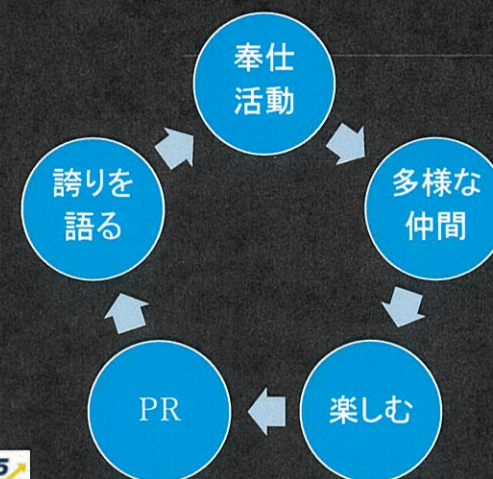
多様な仲間と未来をつくる

今期からFWTはWYPTへと変わり、若者や女性の参加が大きなテーマになります。

関心を持てる活動や参加しやすい仕組みを一緒に考えていきましょう。



価値が高まるライオンズクラブの好循環サイクル





Challenge プラス1

共に奉仕する会員拡大 プラス1

⇒メンバープラス1にチャレンジ

奉仕活動 プラス1

⇒新しい奉仕にチャレンジ

クラブ運営の工夫 プラス1

⇒会員満足度向上へチャレンジ

情報ツールの活用 プラス1

⇒SNSでのクラブの活動をPR



Challenge プラス1

会員拡大について

Challenge+1

プラス1(純増1名+奉仕力の強化)

学生会員やスペシャリティクラブや
クラブ支部を活用した会員拡大

プラチナ会員制度による会員維持

学生会員プログラム

あなたが学生で、地域を改善し、自ら模範を示し、思いやりを実践することに関心があるなら、世界最大の奉仕クラブ団体に属する数百万人のライオンズの一員に加わりましょう。そして、学生会員のために設けられた特典を享受してください。



Challenge プラス1 プロジェクト1

奉仕に学生会員をプラス



☆学生にとって

➢ ボランティアの経験を得る - 地域と世界に奉仕する

➢ 就職に有利な経験を積む - 対面研修およびオンライン研修を受けられる

➢ 人脈作り - 地域社会のリーダーや国際的な団体とのつながりを構築できる



☆クラブにとって

- ・奉仕の担い手の強化
- ・若い仲間が増える
- ・新しい奉仕活動の提案
- ・一人からメンバーに

Challenge プラス1 プロジェクト2

プラチナ会員を活かそう

(会員維持のために)

- ☆ 現在ライオンズメンバーで、年齢75歳以上の方
- ☆ 長年、ライオンズクラブで奉仕活動をされてきた方
- ☆ ライオンズライフをゆっくりと楽しみたい方
- ☆ ライオンズクラブが好きな方

先輩ライオンズメンバーに尊敬と敬愛を込めて
出席義務や奉仕活動の制限の緩和
プラチナ会員の内規を追加。



プラチナ会員とは(335-B地区独自の呼称)

敬意と感謝を込めて



長年にわたりライオンズクラブで積極的に活動し、必要な基盤を作り上げて下さった方々が、年齢や健康上の理由によりその活動が難しくなった場合に、「同じクラブに在籍し続ける道」を提供するための独自の制度です。

1. 対象者の一例

- 1) 75歳以上で、所属年数はクラブの内規により定める。
- 2) 長年にわたりクラブの発展に寄与してきたメンバーとして、理事会の承認を得た者

2. プラチナ会員の特徵(クラブ代議員数としてカウントします)

理事会承認後、クラブ例会での承認を得てプラチナ会員とする。

会議への出席義務や奉仕活動への参加義務は免除となる。

クラブ周年記念例会などへのご案内はあるが、可能な時のみ出席。

「生涯ライオンズ」であり、大切な仲間の一員である。

Challenge プラス1 プロジェクト3

レモノワによる ファンドレイジング

- ・ 奉仕活動の新しいカタチ
- ・ 事業資金を広く集めて奉仕活動
- ・ 共に活動する仲間づくり
- ・ オリジナルブランドで広報活動



寄付金付き商品



レモネードの単価とLCIF寄付額一覧表

ケース 24本入り	クラブ買値 1本あたり	1本あたり収益	
		クラブ収益 1本あたり	LCIF寄付額 1本あたり
1 ケース	240円 / 5760円	60円 / 1440円	60円 / 1440円
10 ケース	235円 / 5640円	65円 / 1560円	60円 / 1440円
50 ケース	225円 / 5400円	75円 / 1800円	70円 / 1680円

<1 ケースの場合>

販売価格
300円
※税別価格

クラブ収益 60円
(事業資金)

クラブ買値 240円

LCIF 寄付額 60円



17

LCIFについて

- ・ Heart 100 への協力のお願い
- ・ 各種交付金の活用推進
- ・ クラブシェアリング交付金の活用
(新しい奉仕へチャレンジ)



Challenge プラス 1

プロジェクト 4

子どもたちの
笑顔やいのちを
守りたい

大阪・和歌山
保育所幼稚園園児へ

災害から少しでも守りたい、
何ができるか、何が必要か。

LCIF地区シェアリング交付金活用

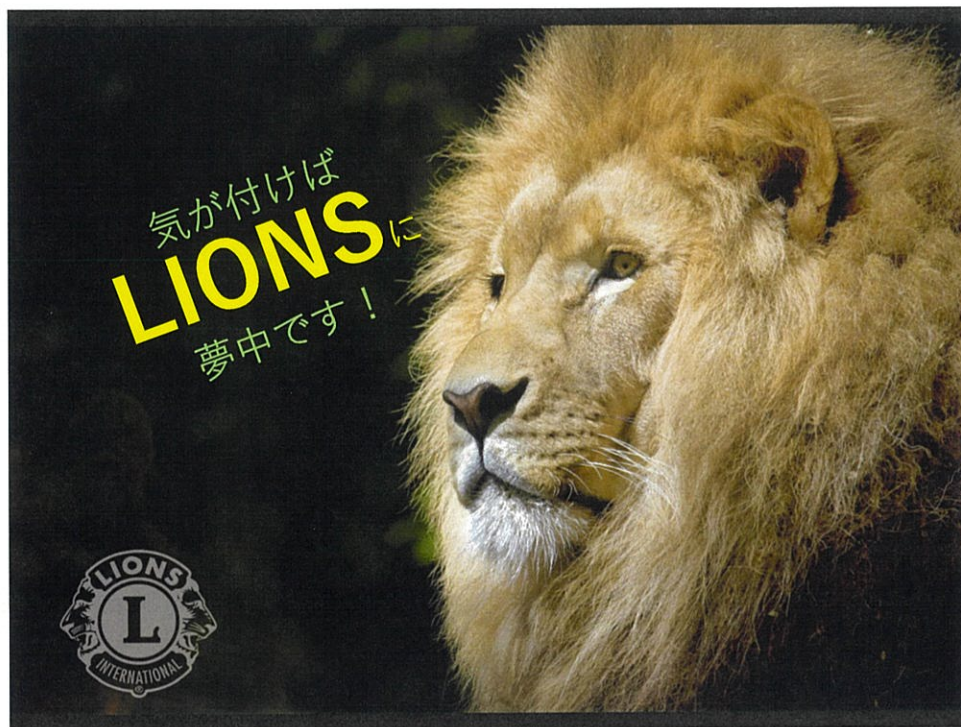
アラート委員会にて検討



ご 報 告

日本初のオセアルレオフォーラムが
大阪にて開催されます！
(2025年11月7日～9日)





奉仕の愛を拡げましょう
～未来への架け橋～

「ひとりで見る夢は夢でしかない、
みんなで見る夢は現実となる」

ご協力、宜しくお願い致します。

 **MISSION 1.5**



オリジナルブランド「レモノワ」趣旨説明

地区ガバナー 笹 部 美千代

2019年広島で開催されたオセアルフォーラムにおいて、全日本FWTの一環として行ったレモネードスタンドは、3日間で1,280,000円の売り上げを記録し、そのうち100万円を小児がん協会へ寄付することができました。この取り組みを通じて、私はあらためてライオンズメンバーの皆様の奉仕の精神の尊さと力強さを深く感じました。

皆さん、ファンドレイジングという言葉をご存じですか？非営利団体が資金を調達することをいいます。では、クラウドファンディングについては、よく耳にするかと思います。クラウドファンディングで物品を購入したことのある方もいるのではないのでしょうか？インターネットを利用して広く資金を調達する方法で、昨年度は大阪United Pride LCが、甲子園球場で野球少年が入団式を行うためにクラウドファンディングでの資金調達に挑戦しました。このように、世の中は大きく変化してきています。ライオンズクラブの奉仕の形も、これまでの様にお財布から出すドネーションという概念に加えて、大阪United Pride LCが行ったクラウドファンディングへの挑戦したように、広く資金を集めてそれを必要としている方々のために活かすという奉仕の形も必要になってくるのではないかと考えます。

ライオンズクラブはこれまでも地域に根ざした奉仕活動を行ってまいりましたが、今後さらにその活動を広げていくためには、若い世代を巻き込むことが重要だと強く感じています。奉仕の大切さを、もっと多くの人に知っていただくために、そして若い方々にも共感しやすい形でその想いを届けるために、私たちは「レモノワ (Lemonowa)」というオリジナルブランドを立ち上げました。このレモノワを通じて、ライオンズメンバーだけでなく、市民の皆さまにも手に取っていただき、ライオンズクラブが取り組む8つの奉仕事業へのご理解と関心を広めていきたいと考えています。

さらに、このレモノワの売上金は、寄付のみならず、各クラブの新たな資金獲得事業であり、売り上げの一部は新たな奉仕活動への資金としてクラブが活用することが可能となり、また、LCIFのクラブ寄付金にもつながります。すなわち、「飲む・知る・支える」の好循環が生まれ、持続可能な奉仕の輪が地区全体に広がっていくことを期待しています。

また、この事業を実施するにあたり、小児がんのために日々活動されている関係者の方々にも私たちの想いをご理解いただき、レモノワの使用についてもご同意をいただいております。活動の趣旨に賛同いただけたことは、私たちにとって大きな励みであり、この取り組みがより多くの支援と共感を得る後押しになると確信しております。

この活動が、未来のライオンズ、そして地域社会全体にとって意義ある一步となることを願い、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2025～2026年度 地区ガバナー公式訪問日程表

2025.7.25現在

R	Z	ホストクラブ	クラブ数	月	日	曜日	【第1部】全体会議 【第2部】ゾーン合同例会	会 場	随行者
1	1	大阪	19	9	25	木	【第1部】 10:00～12:00 【第2部】 12:15～14:30	リーガロイヤルホテル 大阪	堀第1副地区ガバナー 十河第2副地区ガバナー
	2	大阪中央	10	9	10	水	【第1部】 10:00～12:00 【第2部】 12:15～14:30	ホテルモントレ グラスミア大阪	〃
2	1	大阪難波	7	9	24	水	【第1部】 09:30～11:30 【第2部】 12:00～14:00	ホテルロイヤル クラシック大阪	〃
	2	大阪阿倍野	11	8	6	水	【第1部】 10:00～12:00 【第2部】 12:30～14:30	都シティ 大阪天王寺	〃
5	1	豊中中央	8	9	18	木	【第1部】 15:30～17:30 【第2部】 18:00～20:30	千里阪急ホテル	〃
	2	箕面船場	7	9	9	火	【第1部】 15:30～17:30 【第2部】 18:00～20:00	千里阪急ホテル	〃
6	1	茨木オーク	9	9	4	木	【第1部】 15:00～17:45 【第2部】 18:00～20:30	千里阪急ホテル	〃
	2	寝屋川中央	8	8	26	火	【第1部】 15:30～17:30 【第2部】 18:00～20:00	ホテル アゴーラ大阪守口	〃
7	1	堺陵東	6	8	27	水	【第1部】 16:00～18:00 【第2部】 18:30～20:30	ホテル アゴーラ リージェンシー大阪堺	〃
	2	いずみそれいゆ	5	9	3	水	【第1部】 15:30～17:30 【第2部】 18:00～20:30	関空泉大津 ワシントンホテル	〃
8	1	岸和田千亀利	6	8	28	木	【第1部】 16:00～18:00 【第2部】 18:15～20:15	岸和田グランドホール	〃
	2	泉南中央	3	9	6	土	【第1部】 15:30～17:30 【第2部】 18:00～20:30	スターゲイトホテル 関西エアポート	〃
9	1	紀州葵	3	9	17	水	【第1部】 14:30～16:30 【第2部】 17:00～19:00	ホテルアバローム 紀の国	〃
	2	和歌山くろしお	6	9	2	火	【第1部】 14:30～16:30 【第2部】 17:00～19:00	和歌山マリーナシティ ホテル	〃
10	1	御坊中央	10	9	11	木	【第1部】 10:00～12:00 【第2部】 13:30～15:30	和歌山県立情報交流 センター Big・U	〃
11	1	東大阪菊水	8	9	29	月	【第1部】 14:00～16:00 【第2部】 16:30～18:00	東大阪市文化創造館	〃
12	1	松原	5	9	26	金	【第1部】 13:45～15:45 【第2部】 16:00～20:00	シェラトン都ホテル大阪	〃
	2	河内長野	6	9	19	金	【第1部】 14:00～16:00 【第2部】 16:20～20:00	都シティ 大阪天王寺	〃

2025～2026年度 各クラブ周年行事一覧表

2025.7.25キャビネット事務局報告分

2025.7.25ヤレネット事務局報告

	年	月	日	曜日	ク ラ ブ 名	行 事
1	2025	8	7	木	和 歌 山	CN 65
2		10	23	木	岸 和 田	結成 65
3		11	20	木	茨 木 ロ ー ズ	CN 35
3			23	日	摂 津	CN 60
4		12	7	日	豊 中 北	結成 50
5	2026	2	14	土	泉 大 津	結成 65
6			21	土	大 阪 す み の え	CN 55
7			25	水	豊 中	CN 65
8			28	土	豊 中 千 里	CN 30
9		3	10	火	八 尾	CN 65
10			12	木	島 本	CN 60
11			21	土	東 大 阪 布 施	CN 65
12					岬	CN 50
13			26	木	枚 方 シ ニ ア	CN 10
14		4	10	金	河 内 長 野	CN 60
15		5	20	水	大 阪 新 大 阪	CN 45
16			27	水	大 阪 港	CN 65
未 定						
17	2026	5	9 10	土 日	守 口	CN 65
18					東 大 阪 東	CN 45
19					大 阪 狭 山	CN 35

※記念例会

※記念例会

2025～2026年度
地区ガバナー表彰委員会

委員長 松 本 直 樹（豊 中）

副委員長 西 川 聡（東 大 阪 楠）

委員 河 野 尚 樹（堺 陵 東）

委員 徳 原 安 洋（東 大 阪）

委員 高 松 順 一（茨 木）

2025～2026年度
335-B地区基金管理運営委員会

委員長 笹部 美千代（岸和田コスモス）

副委員長 堀 典之（茨 木）

副委員長 十河 宏輔（枚方ローズ）

委員 城 阪 勝 喜（大 阪 港）

〃 古 川 繁 浩（ 堺 ）

〃 西 尾 良 典（大 阪 北）

〃 津 田 勝 之（大 阪 桜之宮）

〃 正 岡 章（吹 田 江 坂）

〃 中 谷 豊 重（岸 和 田）

〃 川 北 浩 之（大 阪）

〃 片 瀬 昭 人（岸 和 田 中 央）

〃 児 玉 和 久（和 歌 山）

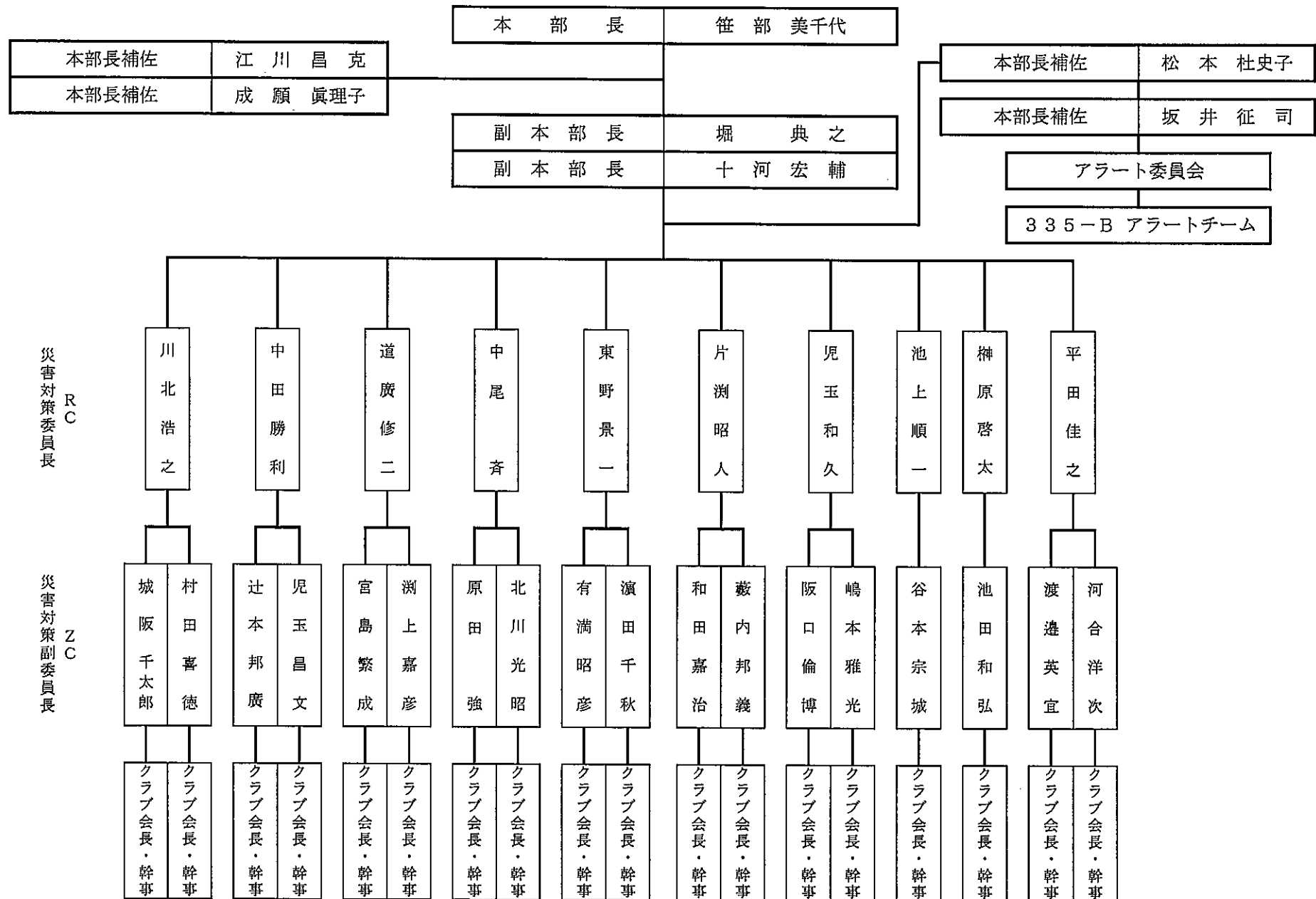
2025～2026年度
災害対策委員会

本 部 長	笹 部 美千代	(岸和田コスモス)
副 本 部 長	堀 典 之	(茨 木)
副 本 部 長	十 河 宏 輔	(枚 方 ロ ー ズ)
本 部 長 補 佐	江 川 昌 克	(岸和田コスモス)
〃	成 願 眞理子	(岸和田コスモス)
〃	松 本 杜史子	(大阪マーガレット)
〃	坂 井 征 司	(守 口)

災 害 対 策 委 員 長	川 北 浩 之	(大 阪)
〃	中 田 勝 利	(大 阪 帝 陵)
〃	道 廣 修 二	(池 田)
〃	中 尾 齊	(摂 津)
〃	東 野 景 一	(堺 仁 徳)
〃	片 渕 昭 人	(岸 和 田 中 央)
〃	児 玉 和 久	(和 歌 山)
〃	池 上 順 一	(新 宮)
〃	榊 原 啓 太	(東大阪大東暁)
〃	平 田 佳 之	(大 阪 狭 山)

災 害 対 策 副 委 員 長 各 ゾ ー ン ・ チ ェ ア パ ー ソ ン

2025～2026年度
335-B地区災害時における組織【災害対策委員会】



2025～2026 年度 地区ガバナー直轄チーム及び協議会

- 骨髄バンク登録説明員協議会
地区内において、骨髄ドナー登録活動の継続的な実施を推進すること及び説明員の拡充を図ることを目的とする。
- ライオンズクエスト説明員連絡協議会
地区内でのライオンズクエスト活動推進にあたり、問題点や成功事例を共有し、地区委員及び説明員の質を高めることを目的とする。
- コンプライアンス委員会
地区内コンプライアンスの取り組みに関する基本事項を定め適切に運用することを目的とする委員会
- 地区法人化検討委員会
社会でのデジタル化に適応する地区運営の法人化を検討する委員会
- 長期ビジョン策定会議
単年度ではなく3～5年先を見据えた中長期的な戦略を策定し、継承可能な仕組みづくりを目的とする会議
- DCAT（Disaster Charity Action Team：災害慈善活動チームの略）
アラート委員会で構築したアラート登録チームを委員会と切り離し独立させることで、災害発生時に迅速に行動を起こすことを目的としたチーム

『城阪勝喜国際理事退任感謝の集い』開催について

元地区ガバナー・名誉顧問 中 村 房 雄

1. 日 時 : 11月15日(土) 13:00~16:00
2. 場 所 : スイスホテル南海大阪
〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60
南海なんば駅直結
3. 出席者数 : 400名を想定
(100名) 元国際会長・元国際理事・財団法人日本ライオンズ関係者・
財団法人日本ライオンズ関係者・
他地区の現・前・元地区ガバナーなど
(300名) 335-B地区会長・幹事など
4. 実行委員会 : 下記の通り組織いたします。ご協力の程お願いいたします。
第1回実行委員会 8月22日(金) 14:00~16:00
おおきに会議室
※出席者: 各委員長・副委員長

城阪勝喜国際理事退任感謝の集い実行委員会組織表

地区ガバナー	笹部美千代
実行委員長	中村房雄
副実行委員長	古川繁浩 西尾良典 石井不二夫 嶋谷優香 中川 恂
事務局長	津田勝之
運営統括委員長	辻川孝之
副運営統括委員長	森田健一郎 城阪千太郎
運営委員長	下川好隆
運営チーム	堀 典之 十河宏輔 江川昌克 成願真理子
	川北浩之 中田勝利 村田喜徳 辻本邦廣 児玉昌文
	板谷雅史 大山広二郎 北角 強 佐野圭一
	水落健太郎 藤岡 宗 岡田一平
	キャビネット委員
記録・映像委員長	柿原勝彦
記録・映像委員	キャビネット委員ITチーム 黒岩大地 下谷竜磨 柴田 睦 玉田翔太
運営事務局	稲森裕美

ライオンズクラブ国際協会335-B地区
キャビネット会計予算(案)

〈収入の部〉

自 2025年7月 1日
至 2026年6月30日

科 目	2024～25年度		2025～26年度	摘 要
	予 算	実 績	予 算	
《一般正会員》				
地 区 費 収 入	29,016,000	29,530,280	28,704,000	4,600名×520円×12ヶ月
地区特別運営費収入	7,254,000	7,382,570	7,176,000	4,600名×130円×12ヶ月
地 区 大 会 費 収 入	13,950,000	14,197,250	13,800,000	4,600名×250円×12ヶ月
《特典会員》				
地 区 費 収 入	3,744,000	3,785,340	3,432,000	1,100名×260円×12ヶ月
地区特別運営費収入	936,000	946,335	858,000	1,100名×65円×12ヶ月
地 区 大 会 費 収 入	1,800,000	1,819,875	1,650,000	1,100名×125円×12ヶ月
雑 収 入 (地 区)	300,000	439,066	300,000	頒布品収入他
ダイナースカード報奨金		97,825		
受 取 利 息 (地 区)	300	15,504	10,000	
受 取 利 息 (大 会)	100	4,272	3,000	
地 区 費 繰 越 金	14,404,739	14,404,739	14,914,375	
地 区 大 会 繰 越 金	7,406,176	7,406,176	6,614,251	
合 計	78,811,315	80,029,232	77,461,626	

〈支出の部〉

科 目	2024～25年度		2025～26年度	摘 要
	予 算	実 績	予 算	
会 議 費	5,000,000	4,840,473	5,000,000	CAB、RC・ZC、委員長会議等
通 信 費	1,000,000	626,127	800,000	郵送料、電話代等
印 刷 費	1,700,000	1,430,175	1,600,000	
人 件 費	17,500,000	14,589,110	18,000,000	
退 職 給 与 準 備 金	300,000	302,524	350,000	
事 務 所 費	5,800,000	5,772,537	5,800,000	借室、光熱費
事 務 用 品 費	100,000	59,133	100,000	
I T 関 係 費	2,500,000	2,054,328	3,000,000	ネットサーバー利用料 他
ソフトウェア開発費	700,000	660,000	700,000	
福 利 厚 生 費	3,000,000	2,456,833	3,000,000	事務局員社会保険料 他
什 器 備 品 費	1,000,000	1,100,000	500,000	
リ ー ス ・ レ ン タ ル 料	1,000,000	584,892	1,000,000	FAX、コピー機 他
慶 弔 費	2,000,000	1,595,000	2,500,000	CNお祝い金、慶弔金 他
旅 費 交 通 費	1,800,000	1,149,710	2,000,000	事務局員交通費 他
雑 費	350,000	272,759	350,000	
贈 呈 品 費	2,500,000	2,216,720	2,500,000	各クラブ三役への記念品 他
各 種 委 員 会 費	3,000,000	1,470,063	3,000,000	
協 議 会 関 係 費	500,000	100,000	500,000	
広 報 誌 編 集 費	750,000	306,900	750,000	
レ オ 関 係 費	100,000	100,000	100,000	
新クラブ結成資金	3,000,000	0	1,500,000	
国 際 本 部 関 係 費	500,000	0	300,000	複合地区分担金
地 区 大 会 費	23,156,276	23,427,573	22,067,251	地区大会費・地区大会繰越金・ 受取利息(大会)
予 備 費	1,555,039	0	2,044,375	
次 期 繰 越 金		14,914,375		
合 計	78,811,315	80,029,232	77,461,626	

キャビネット旅費・交通費規程（案）

1. 旅 費 規 程

前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員及び事務局員が管外出張した場合、旅費の支給について、地区ガバナーの裁定によりその都度定める。

2. 交 通 費 規 程

前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員がキャビネット行事に出席した場合、交通費の補助について、地区ガバナーの裁定によりその都度定める。

[2012年7月23日改定]

慶 弔 規 程 (案)

1. 335-B地区キャビネットの慶弔に関する取扱いは、この規程に定めるところによる。

2. 慶事の場合

- ① 前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員が叙位叙勲を受けた場合、金品を贈り祝意を表す。
- ② クラブの記念行事の場合、次により祝意を表す。
 - (イ) クラブ結成会
地区ガバナー、キャビネット幹事・会計が出席し、新クラブ結成資金(300,000 円)を贈り、地区ガバナーが祝意を表す。
 - (ロ) チャーターナイト
地区ガバナー、キャビネット幹事・会計が出席し、祝金(60,000 円)を贈り、地区ガバナーが祝意を表す。
 - (ハ) チャーターナイト記念
チャーターナイトの特別記念行事(5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60、65周年)の場合、地区ガバナー、キャビネット幹事・会計が出席し、祝金(60,000 円)を贈り、地区ガバナーが祝意を表す。

3. 弔事の場合

- ① 前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員が死亡した場合、供花又はそれ相当額の香典(30,000 円)と弔電にて弔意を表す。
- ② 次に掲げる者が死亡した場合、柩又はそれ相当額の香典(10,000 円)と弔電にて弔意を表す。
 - (イ) 前項の者の配偶者
 - (ロ) 前項の者の父母及び同居配偶者の父母
- ③ 前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員が死亡したときは、地区ガバナー又は地区ガバナーの委嘱する者が葬儀に参列し、その他の者が死亡したる時は、事情により前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員が葬儀に参列する。
- ④ クラブメンバーが死亡し連絡を受けた場合、弔電を打ち弔意を表す。

4. 病気、罹災見舞

- ① 前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員が1ヶ月以上の入院の場合、見舞品を贈る。
(10,000 円)
- ② 前・元地区ガバナー、地区役員、地区委員が罹災にあった場合、見舞品を贈る。
(10,000 円)

その他地区ガバナーが必要と認めたる場合、その都度決定する。



地区及びクラブシェアリング交付金報告書/DCG Final Report

提出先:lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 実施完了事業の概要/Project Information

- ① 交付金番号/Tracking Number DCG-26190/335 B
- ② 事業開始日/Project Started 2025 年 6 月 22 日 事業完了日/Completed 2025 年 6 月 22 日
- ③ 事業責任者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
氏名（漢字）森田 健一郎（ローマ字）Kenichiro Morita
電話 080-1456-1248 E メール morita@apmr.jp
- ④ 事業名と実施場所/Project Name & Location
- a. 事業名/Project Name ライオンズフェスタ 2025 ミライ献血会議
- b. 実施場所/Location EXPO2025 大阪・関西万博会場内イベントスペース

⑤ この事業が行った人道的な奉仕（具体的に説明）/Humanitarian needs addressed by the project

日本では輸血を必要とする人数は年間 100 万人（一日平均約 3000 人）と推定され、献血により補われています。献血により集められた血液は、病気による血液減少：がん、白血病、再生不良性貧血、血液凝固異常や特定の臓器の機能不全などの病気により血液を十分に作れなくなった場合への提供が約 80%。大量出血：事故や手術などで大量に出血した場合への提供が約 20%となっています。今回のミライ献血会議では啓蒙・採血者増加により安定的な血液の確保による人道奉仕に結びつけることができます。

⑥ この事業の受益者と人数/Description of Beneficiaries and the number served

- a. この事業が直接的に奉仕した人々の説明
⑤の回答に準じます。
- b. 奉仕を受けた人の数 輸血を受けた方が該当しますが具体的数値は計測不能です 人

⑦ 事業のインパクト/Project Impact

- a. 事業の目的は達成されたか？目的が達せられなかった場合は何が問題だったのか？
Has the project goal been met? If not, what were the issues?
計画通り実施され目的を達成しました。
- b. 事業の短期的、及び中長期的な効果/Description of short-term and mid to long-term impact
プレゼン大会で発表された内容をライオンズクラブの献血奉仕活動に取り込み、特に学生の方たちとの協業に継続派生させることができます。

⑧ 事業に関わって奉仕に従事したライオンズの数/# of lions involved 200 人
ライオンズが行った活動の説明/Description of their activities

2024/07 基本計画書作成・万博協会へ催事利用申請。

2024/08～10 プレゼン大会実施要項作成・日本赤十字社と調整協議
335-B 地区/GST 委員会・MC委員会・レオ委員会合同協議

2024/12 万博協会より催事利用許可通知取得

2025/01 実施計画細部協議・国際会長招請依頼・各種募集要項決定
各種学生団体（主に高校生・大学生・専門学校生）への説明と参加協力依頼

2025/02 オフィシャルホームページ準備・キャビネット会議準備

2025/03/03 地区キャビネット会議にて地区シェアリング交付金申請上程

2025/03 プレゼン大会募集広報開始、博覧会協会へ詳細資料提出と打合せ
イベント広報開始（地区全体より発信）

2025/03/17 プレゼン大会 1 次募集開始

2025/04 現地視察

2025/05 現地視察

2025/05 下旬 プレゼン大会決勝進出者決定通知・入場チケット送付
ダンスチャレンジコンテスト出場者決定通知・入場チケット送付
最終タイムテーブル確定

2025/06/16 現地視察

2025/06/22 博覧会会場にて催事実施

2 財務報告/Financial Report (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 承認された交付金額/DCG amount approved \$ 31,186 (日本円 4,502,762 円)

b. 経費報告/Expenses Report

下表に、LCIF の交付金及びクラブまたは地区からの資金の経費報告について、日本円で正確に記入してください。受け取った交付金を全額使わなかった場合には LCIF に返金する必要があります。

LCIF の会計監査の要請に応じられるように領収書やレシートは大切に保管しておいてください。

日付/Date	支払相手先名/Vendor	金額/Amount (日本円/JPY)	支払い内容/Expense Items (承認された予算に基づく実際の支出を記入)
	JTB	¥3,300,000	交付金：プレゼン大会 300 名招待分
	イグロス	¥1,100,000	交付金：清風高校生 100 名分招待
	博覧会協会	¥188,530	会場使用料
	放送映画社	¥1,600,000	プログラム・台本・映像製作費
	JUN DESIGN OFFICE 他	¥172,053	モザイクアート・ポスター・演台他
	有限会社いこまや 宮本音楽事務所	¥450,000	アフターセレモニー/音響機材持込み・出演料

返金額の有無/Unused Funds ☒なし/None ☐あり/Yes (返金額/Refund amount: 102,762 円¥)

「あり」にチェックの場合は、報告書審査後に返金手続きについてご案内します。

If there is a refund, LCIF will provide the refund instructions upon the completion of the final review.



地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先: lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

① 申請年月日/Submission Date 2025 年 7 月 日

② 申請者/Applicant ☒ 地区申請 地区名 335-B 地区
☐ クラブ クラブ名 クラブ番号

③ 申請者の連絡先/Contact 代表者 (事業内容を説明できる人)
氏名 (漢字) 笹部 美千代 (ローマ字) Michiyo Sasabe
電話 09019124877 E メール rscs-sasabe@rosecs.jp

④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location

- a. プロジェクト名 (事業内容が分かる名前) 園児を災害から守る防災グッズ提供
b. 実施場所 大阪府・和歌山県

⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

園児という年齢は、自分で出来ることと大人から守られることがあります。園児に防災の知識を伝える絵本や助けを呼ぶためのホイッスルを提供することにより、発災時には自ら行動ができ少しでも役に立つことが出来ると思っております。

⑥ この事業の受益者と人数/Beneficiaries 下記 a.及び b.で記載ください。

- a. この事業が奉仕する人々 (受益者) の説明/Description of beneficiaries
大阪・和歌山の園児 (現在調査中)
- b. 受益者の数/# of beneficiaries 2,000 人

⑦ 事業計画/Plan and Schedule

- a. 事業実施日と企画から実施までのスケジュール/Schedule (実施日は年月日を明記し時系列で説明)
6 月準備 RC・ZC 会議や各種コーディネーター・委員長会議において発表
7 月 アラート委員会にて委員長から発表、キャビネット会議にて発表・承認
8~10 月 委員会において物資の検討と決定
11 月 物資の注文と配送方法を検討
2~3 月 発送開始・完了
- b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles
各市町村教育委員会及びボランティアセンターを設置する社会福祉協議会、7/28 には災害支援ネットワーク協議会に出席してヒアリングを行います。

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 30,000 (1ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	30,000 ドル	1. 防災絵本 @1,350×2,000	2,700,000 円
その他収入源/Other Sources	円	2. リュック @400×2,000	800,000 円
1.	ドル*		
2.		3. ホイッスル 他 ※アラート委員会にて検討 決まり次第明確にする	833,296 円
3.		4.	円
4.		5.	円
5.		6.	円
合計	30,000 ドル	合計	4,333,296 円 30,000 ドル*

*申請する月のライオンズレート/Lions rate used を記載ください。 \$1.00=¥ 144.443210

このレートで換算したドル額を記入してください。1ドル以下は切り上げてください。

第1回 複合 GMT 委員会報告書

委員会名 GMT 委員会
MD335 GMT 委員長 西尾 良典

開催日：2025 年 7 月 9 日（水）15 時～17 時 於：335 複合事務局
出席者：335 複合地区 GMT 委員 A 地区 L 橋本 B 地区 L 板谷 C 地区中世古（代理中村） D 地区 L 常深、及び準地区 GMT 委員長 2 名 オブザーブ 335 複合 WYPT 委員長 L 畑山、他 WYPT 委員 2 名参加

- 1) MISSION1.5 サミットでの目標値及び行動計画について各地区より報告を頂き共有した。
- 2) 地区、リジョン、ゾーンの状況を知ることにより適切な対応と方策により限られた可能性を最大限発揮し、狭める部分はアレンジメントして転換することで効果が望めることを確認した。
- 3) クラブの種類及び会員種別の多様性とその役割について講習を行った、支部の活用方法について・会員制度の条件の確認・学生会員の活用及び家族会員の実態と活用方法など、会員増強の可能性を追求するべく知識とアイデアを蓄える必要性を確認した。また、支部結成や女性会員の拡大を図る WYPT 委員会からは入会案内として使用できる「もっとライオンズ」の活用の啓発と共に会員増強について意見交換をした。

◆下記各地区の目標◆

A 地区）入会 280 名純増 120 名解散クラブの受け皿として 11 ゾーンに OB 支部の結成、多様性のある支部及び関係他団体への支部結成を促す、CSR を活用した会員増強の啓発

B 地区）各クラブ 1 名以上の純増と退会防止をテーマとする RC/ZC を巻き込みクラブ 3 役に会員増強アンケート実施啓発、クラブに合致した課題と方策の提案、ASK1 例会・アクティビティ、プラチナ会員制度、新入会同期会を開催、支部設立の支援、学生会員受入支援を行う予定

C 地区）入会 350 名 純増 50 名 M1.5 推進に地区役員が率先して家族会員を入会させる、各クラブに会員増強チームの発足とセミナーによる啓発、クラブ解散、退会防止の施策を検討する

D 地区）入会 220 名純増 30 名 ZC と協議を重ね情報交換と進捗管理を行うまた会員増強チームを発足、会員増強セミナーの開催で啓発を進めて結果に繋げたい。

★各地区とも MISSION1.5 サミット参加の経過もあり行動計画に基づき新会員の入会及び支部結成に取り組まれている。社会のニーズと世代交代への受け皿として学生会員の必要性も鑑み、若年層のメンバー拡大にも意欲を持っている。今後、複合地区内での認識と情報を共有し各地区のベースアップをサポートしていきたい。

全国アラートフォーラム報告

335 複合地区アラートコーディネーター 津田勝之

1. 全国アラートフォーラム開催について

日本の東西の複合地区において年ごとに交互に行われていた、全国アラートフォーラム開催地について、前は MD333 茨城県水戸市にて開催の為、第 6 回日本ライオンズアラート委員会会議において、次回は MD334 または MD335 が候補として上げられたが、日本アラートにて調整の下、335 複合地区内にて議長を中心に協議に入り合意が得られたので、4 月 8 日開催の第 7 回日本ライオンズアラート会議において 335 複合地区委員長 L 西尾が表明、MD335 での開催が承認された。

2. 全国アラートフォーラム開催予定について

★主催：一般社団法人 日本ライオンズアラート委員会

■ 運営担当：335 複合地区

■ 日 時：2026 年 3 月 13 日（金）

全国アラートフォーラム セミナー 13 時～17 時予定

交流会 18 時～20 時予定

■ 場 所：ホテルロイヤルクラシック大阪（旧大阪新歌舞伎座）

大阪府大阪市中央区難波 4-3-3

■ 登録料：未定（検討中）

■ 対 象：全国 8 複合地区より、アラートに関心のある方

■ 内 容：前期 MD335 アラート委員会にて準備委員会を発足し、現在は今期 MD335 アラート委員会と合流し実行委員会を立ち上げ準備作業に進んでいる。

※当日午前中に 8 複合役員及びアラート委員による事前会議開催が検討されている。

第1回キャビネット資料

MD335(担当)
LCIF 副コーディネーター
岡田 隆彦

(オセアル2024.6.30現在報告)

	前期 累計	前期 目標	達成率	\$100寄付 参加率
A	204,129	200,000	102.1%	27.0%
B	922,209	900,000	102.5%	55.8%
C	601,907	550,000	109.4%	81.2%
D	297,771	200,000	148.9%	31.2%
合計	2,026,016	1,850,000	109.8%	56.3%

(目標額)

	前期 目標
A	200,000
B	900,000
C	560,000
D	210,000
合計	1,870,000

- ・) MD335 からのお願い (別紙)
- ・) LCIF 日本リーダーズ組織表 (別紙)
- ・) 地区、クラブ交付金を使って後の写真のお願い (別紙)

1) 各地区のコーディネーター、委員長は目標額はわかっていますので

12月を80%、2月を90%~100%にして 月々の達成%の表を

作ってください。

2) 目標金額達成する為のファンドレイジング（資金調達）

何の事業をして、どれだけ資金額は？

〈例〉各地は毎年1回は必ず LCIF ゴルフコンペをして頂いておりますが、

例えばリジョンで（マージャン大会、ボーリング大会、ゴルフコンペ）

色々あると思いますので、考えをレポートとし、提出してください。

3) メンバー1人\$100を寄付して頂くために、各地区の委員会は納得して頂くため

にどう行動されますか？

[AD 地区は目標%を 50%を、B 地区は 70%、C 地区は少しでも%を高める為に努力をお願いします。]

[※ガバナーと委員会に相談して 7/15 までに 1)2)3) 複合キャピ ネット真下さんまでメールで提出を必ずしてください。]

元国際会長・元LCIF理事
LCIF日本名誉アンバサダー
山田 實紘

LCIF理事
元国際理事
鶴嶋 浩二



2025-2026年度
LCIF日本リーダーズ

LCIF開発 会則地域リーダー（日本）
鈴木 誓男

エリアリーダー 東日本
阿久津 隆文

エリアリーダー 西日本
夏 有民

副エリアリーダー
MD330・MD333
石原 英司

副エリアリーダー
MD331・MD332
及川 隆人

副エリアリーダー
MD334・MD335
遠藤 紀夫

副エリアリーダー MD336・MD337
橋本 充好 / 吉村 千鶴子

MDコーディネーター
MD330
LCIF日本事務局 兼務
櫻井 貴裕

MDコーディネーター
MD333
中嶋 正昭

MDコーディネーター
MD331
本所 光男

MDコーディネーター
MD332
村上 孝

MDコーディネーター
MD334
原口 秀樹

MDコーディネーター
MD335
高井 利夫

MDコーディネーター
MD336
高岡 英治

MDコーディネーター
MD337
二場 安之

MD副コーディネーター
MD330
三浦 宏仁

MD副コーディネーター
MD333
倉留ラジェシュ

MD副コーディネーター
MD331
蠣崎 基

MD副コーディネーター
MD332
佐野 宏美

MD副コーディネーター
MD334
山田 実貴人

MD副コーディネーター
MD335
眞田 健二

MD副コーディネーター
MD335
岡田 隆彦

MD副コーディネーター
MD336
金碓 毅

MD副コーディネーター
MD337
下園 雄治

LCIFアンバサダー 川島 正行/ 松岡 勲/ 丸山 正芳/ 榎本 舜治/ 大石 誠/ 北畑 英樹/ 林田 俊一/ 針田 一朗/
北野 憲太郎/ 宇田川 直子

LCIFサポーター 三口 巖/ 藤弥 一司/ 谷岡 憲行/
野木 良彦



Lions Clubs International
FOUNDATION

写真で伝えよう LCIF のストーリー

第2回 LCIF 写真コンテスト

「文章より1枚の写真」

LCIFの交付金事業やファンドレイジング活動で、あなたが撮影した
LCIFのストーリー（活動や体験）が伝わる渾身の1枚を。

ネットやSNSで情報が飛び交う時代であって、時に「写真」が人々の心を大きく動かします。

LCIFでは、世界中のライオンのストーリーを集め、それを広めることで、次の人道的な支援へとつなぐ様々な広報活動に取り組んでいます。

毎年たくさんの寄付と多くの交付金事業で貢献する日本のライオンズ会員の皆様にも、人々の心を動かす写真を共有していただく機会として写真コンテストを行います。ぜひふるってご応募ください。

募集要項

応募作品：LCIFの交付金事業、またはファンドレイジング活動で撮影された写真が対象です。

事業や活動を通じた人々や子どもたちとのふれあい、活動の様子や臨場感が伝わる、ライオンズクラブの奉仕ならではの1枚をお待ちしております。

※詳細は「応募のきまり」を確認のうえ、写真の撮り方資料「写真でLCIFの活動を残し、広める」も事前にご参照ください。※裏面QRコードからアクセスできます。

応募資格：応募者は、グッドスタンディングのライオンズクラブに所属するクラブ会員に限ります。

応募方法：LCIF.jpに掲載する応募専用リンクから画像ファイルをアップロード ※「応募のきまり」をご覧ください。

応募締め切り：2025年6月30日17:00アップロード分まで

応募作品の審査：ご応募いただいた作品のなかから、募集テーマ「写真で伝えようLCIFのストーリー」をもっともよく表す写真をLCIFコーディネーター会議・研修会にて協議会議長、地区ガバナー、地区LCIFコーディネーター及びLCIF日本の役員が審査し、優秀作品を選定します。

応募作品の公開：応募作品はLCIF.jpをはじめ、ライオンズ・インターナショナルの各種メディアにて公開させていただく可能性があります。あらかじめご了承ください。



LCIF.jpを
チェック！



第1回最優秀賞「能登の笑顔」金沢菊水LC L.中条忍

応募写真について

- ・ LCIF（ライオンズクラブ国際財団）の交付金事業、または LCIF への寄付を目的としたファンドレイジング活動であること。
 - ・ 応募者のオリジナル作品であること。
 - ・ 法令、公序良俗に反しない、第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害しない、展覧会、コンテスト、雑誌などに投稿していない作品であること。
 - ・ コンテスト概要に記載された肖像権、著作権についての諸条件を了承し、要項に沿った応募方法と仕様であること。
 - ・ 応募作品に過度な加工をしていないこと。
- ※明度・彩度・ホワイトバランスなどの調整は問題ありませんが、実際の風景、また撮影時とは大幅に異なる画像の合成、および大幅な画像処理（色調の調整を除く）を行った場合は失格。フィルター、キリヌキなどの加工不可。
- ※画像はフルカラー、画素数 400 万画素以上、2,304×1,728 ピクセル以上、容量 25MB 以下。拡張子は JPEG 形式（.jpg、.jpeg）のみ。ただし審査後、入賞の有無にかかわらず、ライオンズクラブのウェブサイトや SNS などを使用する場合は、画質・サイズ共にグレードアップしたものの提出をお願いすることがあります。
- ・ 画像のファイル名は、アタマに LP をつけて _（アンダーバー）苗字 _（アンダーバー）名前のようにすること。1 人の方が複数枚応募する場合は、さらに _（アンダーバー）をつけて通し番号を入れる。
- ファイル名例）LP_sato_taro_1
- ・ **写真の撮り方資料**「写真で LCIF の活動を残し、広める」を読み、写真で LCIF のストーリーを伝える主旨をご理解のうえ応募してください。

著作権・肖像権等への注意

- ・ 応募作品に関する著作権は、LCIF に帰属するものとする。
- ・ 第三者の肖像や、プライバシー及び著作物を含む応募作品に関して、当該権利者（ご応募作品の撮影者）より、本コンテストへの応募、及び LCIF による使用について、事前の使用許諾・承認を受けたうえで応募すること。
- ・ 応募作品が第三者の肖像権、著作権、パブリシティ権その他の権利を侵害している状況、またはそのおそれがあることにより生じる一切の事項については、応募者がその費用と責任をもって対応するものとし、LCIF は一切関与をいたしません。
- ・ LCIF は、応募作品の利用によって応募者および第三者に生じた一切の損害について責任を負いかねます。
- ・ **撮影許諾書のサンプル**を確認、または使用のこと。（実施事業の内容に沿って適宜修正されたい）

応募方法

- ・ **応募フォーム**に必要事項（応募者の情報・写真の情報）を入力し、画像をアップロード。



写真の撮り方資料



撮影許諾書サンプル



応募フォーム

LCIF.jp にアクセス



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオンズ・インターナショナル
オセアラル調整事務局 LCIF 課

LCIFTokyo@lionsclubs.org PHONE 050-5497-9338

第1回キャビネット会議 1R 報告書

1RRC 川北 浩之

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 29クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
987名	1016名	あと29名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

ZC 同様 意見尊重

次世代 ライオンズメンバーの居心地の良い居場所作り

老若男女問わず楽しめる環境作り

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

リジョン賀詞交歓会実施

リジョン BBQ 合同イベント

ゾーンに候補出し後協実施

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

BNI、CORPORATCONNECTIONS というリファーマーケティング組織

仕事の売り上げを共に紹介を通じて上げていく団体

関西に約2000人在籍しているのでTOPで対談する予定

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

レモネードに関してはプチイノベーションとしてコミットしている

積極的に委員と連携を図り各クラブに通達する方向

LCIF 例会の実施を各クラブに通達する

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

キャビネット事務局に消極的なクラブに相談窓口を設置

問題の出ているクラブに積極的に関わり早期解決策を考える

極小クラブに統合、合併のお話を持っていく

第1回キャビネット会議 2R 報告書

2RRC 中田勝利

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 18クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
名	一クラブ1名増員	あと 16名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

リジョン・チェアパーソンと各クラブが密に連絡を取りながら各クラブ共に【楽しい雰囲気】作りを大切に、クラブ活動と新会員勧誘に力を入れて頂こうと思います。
そうすることにより、退会するメンバーも減らせると 생각합니다。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

来年2月5日の各クラブ合同の例会を今年も開催する予定です。
併せて花火大会の清掃、大阪マラソン開催前の清掃、大和川の清掃、インテックス大阪での献血活動も例年通り開催する予定です。
また、骨髓バンクのドナー登録会を開催したいと思います。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

J Cさんや地域の社会福祉協議会など

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

シンプルに各クラブに100ドル献金をお願いする予定です。
レモネードも地域のお祭りで販売します。そこからLCIFに寄付できるようにしたい。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

2Rは少人数クラブが多いのが問題だと思います。

第1回キャビネット会議 5R 報告書

5R RC 道廣 修二

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 15クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
543名(1Z 294名・2Z 249名)	558名	あと13名(純増15名) 7月入会2名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

- ・各クラブ 純増1を目指す。アスク1例会の実施(増強取り組みの共有)
- ・各ゾーンのクラブ会長より取り組みの経過報告を受け、相談して行動する。(RC・ZC・会長会等ミーティング)
- ・クラブへの情報共有を行いクラブの温度差を無くす。(RC・ZCクラブへの例会訪問実施)

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

- ・5R 合同年末献血や他クラブの献血奉仕活動への参加 (クラブ間交流を通して連携を図る)
- ・5R 内の例会参加(交流)やイベントへの参加・応援 (クラブ間交流を通して連携を図る)
- ・5R 交流親睦会の検討。(ゴルフ・屋外BBQ・ボーリング等リクリエーション)
- ・新入会員研修(同期会)を5Rで検討して開催 (懇親会含めて)

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

- ・豊中市では、大阪音大 豊中市少年野球連盟 豊中市吹奏楽連盟 他
- ・池田市では、池田市教育委員会(小学生落語鑑賞会) トアエル 里山あそび隊(青少年育成・環境保全)
- ・連携 池田ロータリークラブ 青年会議所 商工会議所青年部 池田市内のお寺 アゼリア(市民文化会館)

*その他については、聞き取りを行ないます。

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

- ・5R LCIFセミナー開催 (ハート100の推進 早期の達成 クラブシェアリング交付金の活用推進)
- ・ライオンズブランド レモネードスタンド活動の推進・ツールの活用(LCIF委員会よりクラブへ推進)
- お祭りや例会場 奉仕活動する場所(例 献血活動と同時開催 等)

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

- ・正会員20名を割るクラブへの問題点等 聞き取りし解決策を模索していく。(少人数のクラブでも健全なクラブあり)
- ・会員減少は各クラブの課題であり、クラブの垣根を超えて情報共有できる手段を検討する。(連携)

第1回キャビネット会議 6R 報告書

6R RC 中尾 斉

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 17クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
951名	971名	あと20名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

各クラブの例会に、訪問し必要性を訴える。

各ゾーン LINE 連絡網を活用して、現状や事例等情報提供し共有する。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

リジョン合同例会の開催、リジョン BBQ の開催をし、会員相互の親睦を図り会員拡大や退会防止に繋げたい。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

ロータリークラブ、青年会議所、商工会の例会に相互訪問

各諸団体との異クラブ交流ゴルフコンペの開催

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

合同例会や諮問委員会、ゾーン LINE 連絡網にて情報の発信。

夏期に入り、各地元のお祭りやイベントにて活用する。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

第1回キャビネット会議 7R 報告書

7 R RC 東野 景一

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 11クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
700 名	747 名	あと 47 名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

- ・アスク1例会に招待、ノンライオンのアクティビティへの参加。また魅力的なアクティビティや充実した例会を行い、各メンバーが活躍しクラブの重要な一員であることを実感してもらう事で、退会防止に繋げていく。
- ・500名BBQ開催、こども食堂の展開にノンライオンを巻き込んで開催する事で勧誘に繋げる。
- ・情報の共有やSNSの活用、欠席者へのフォロー、同好会活動によるメンバーの親睦、プラチナ会員制度導入など、会員維持に注力していきます。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

◆7R 合同アクティビティ・ゾーン合同アクティビティの実施を計画しています。

11月28日(金)17:00～ 於：堺市産業振興センター

リジョン合同アクティビティ及び例会、各クラブ例会に振り替え全員参加で行う予定です。

◆クラブ間交流 1Z 堺仁徳LC・堺浜寺LCは合同ゴルフコンペ・合同例会(5月実施)

堺浜寺LC・堺登美丘LC・堺陵東LC 3クラブ合同例会(3月実施)

2Z ガバナー公式訪問後に2Z合同例会を開催。

各クラブ間でも、親子クラブ合同例会を開催予定。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

1Z 堺市健康福祉局 保健所(アクティビティ)、かみひこうきふれあい食堂(ドッジボール大会・献血・骨髄ドナー登録依頼)、堺浜マイクロプラスチックカフェ・堺市環境事業部(大和川河口堺浜自然再生ふれあいビーチの清掃等)
堺市社会福祉協議会(子ども食堂の支援)、堺市(自治連合会)・関西大学堺キャンパス・サカイ引越センター・
堺化学工業(合同献血事業)、連携したい団体・・・「大和川サイクルプロジェクト」として(株)CYCLE Hub&Port
の「大和川自転車賑わい拠点創設プロジェクト」

2Z 商工会議所・商工会議所青年部(式典・イベントに参加)、「OSAKA あかるクラブ」(社会貢献活動)

各市町の社会福祉協議会(防災訓練に参加)

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

- ◆ 各クラブで勉強会などを開催、メンバーへの趣旨説明をし、理解してもらう事で、全クラブにおいてハート100キャンペーンを達成します。
- ◆ レモネードの活用については、まずは次期会長幹事打合せ会でゾーン内クラブへ説明しました。ゾーン合同での活動や、各クラブで活用できる場面があれば、都度検討してまいります。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

- ・一部のクラブより、自クラブの課題と問題として、出席率の低さ、少人数化などがあげられた。
- ・他団体や他クラブのアクティビティなど、知らないことが多いため、お互いに情報交換をした上で、見習うべき活動を取り入れたい。
- ・クラブのある地域に在住されていない会員が増え、地域に対する奉仕活動の意欲が減少している等の意見があった。

第1回キャビネット会議 8R 報告書

8RRC 片瀬 昭人

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 1Z 6クラブ 2Z 3クラブ 合計9クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
390名	418名	あと28名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

各クラブの目標に対しての取り組みや計画を確認し、各ZCと協力して積極的に会委員増強を働きかけていく。
又、基本ではあるが、既存メンバーにライオンズクラブ活動の楽しさを理解していただき、そこから新規メンバー開拓の輪をひろげていきたい。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

昨年度に引き続き、8R合同のアクティビティを計画している。現状では各クラブからアクティビティ委員を選出してもらい、実行委員会を開催予定である。担当は1Z。又、8Rの合同例会も計画し、担当は2Zとしている。
その他、8R合同ゴルフ大会や各ZにおいてはZ合同例会も企画中である。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

従来から独自に他団体（市子連、スポーツ少年団、ボーイスカウト、日赤等）と交流し、活動を行っているクラブがあり、その交流を広げていければと考えている。又、今後はJCや商工会議所青年部等との交流を探り、合同アクティビティ等を行えればと思っている。

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

LCIF等については、各クラブの自主性に任せる。
レモネード等の活用については、合同アクティビティで活用したいと考えている。又、各Z、各クラブのアクティビティのなかでも活用を促して行く。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

2Zにおいては従来より新クラブの結成を目指していたが、現在は中々難しい状況にある。
又、結成間もないクラブへの協力体制の確立が課題となっている。
ガバナーズリジョンとして、リジョンをあげてガバナーの応援をしていく。

第1回キャビネット会議 9R 報告書

9RRC 児玉 和久

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 9クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
412名 (2025年5月末現在)	421名	あと9名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

各クラブ会長に対してアピールしていく。

クラブとしての目標を立てて頂き、会長としてどのように動かされるのか諮問する。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

1Z・2Zを含めたリジョン全体の合同アクティビティを開催し、ノンライオンを巻き込む。

ノンライオンには、我々の活動を理解してもらい、会員増強につなげていく。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

和歌山市下の子ども食堂と連携しており、2年前より開催している9R1Z合同アクティビティ「青空子ども食堂」に子どもたちが参加している。今後も続けていく予定。

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

まずは、レモネードスタンド活動がLCIFとどのような関係性があるのか、各クラブに理解してもらう。

地域のイベントと連携やSNSを活用した広報活動を行うなどして、活用して頂く方法を各クラブに検討してもらう。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

1Z3クラブから4クラブに、エクステンション計画を立てる。

又、9Rの1Z化について検討を進める。

第1回キャビネット会議 10R 報告書

10RRC 池上順一

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 ●●クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
457名	470名	あと 13名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

We Serve をすすめる為に会員拡大は欠かせない活動であることを広く共有することに勤め、目標達成したい。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

9R10Rの合同アクティビティは今年度も実施する。旧1Z・2Zで行っていた合同アクティビティも1Z化に伴って継続できればと思っている。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

他団体との交流は行われていませんが、アラートの活動することによって今後展望が開けていくものと考えています。

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

LCIFの理解と協力を要請する。

「レモネード」の取扱いは今後の活動に生かされるものでとりわけ「支部」の活動には有効と思われる。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

特にありません。

第1回キャビネット会議 11R 報告書

11RRC 榎原 啓太

(質問1) 会員拡大について

(回答1) リジョン内クラブ数 8クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
231 名	241 名	あと 10 名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご、記入ください。

MISSION1.5 (会員増強) の認知度を増し、クラブ単位もさることながら、リジョン全体としての危機感・重要性を、説明・共有する。 前期解散したクラブのメンバーの再入会を促すとともに、学生会員のメリットを理解してもらい各クラブに前向きに取り組んでいただく。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

8月5日に行う、第1回リジョン会議を契機とし、リジョン内の交流を深めるとともに、前任のRCが行った合同アクティビティを利用し、さらにリジョン内の交流を深めるアクティビティを実施する。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

東大阪市、大東市、四條畷市の社会福祉協議会と「大規模災害発生時等における相互協力に関する協定」を令和4年3月に結んでいます。
今後、各市の教育委員会と連携し、青少年支援に取り組んでいきたい。

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

LCIFについては、支援の広がりや意義を理解してもらい、積極的な協力をお願いしていきます。
レモネードの活用方法を十分説明して、イベントなどでの販売、販促費、会議等における飲料とし活用してもらうようにお願いしていきます。

(質問5) その他

その他、リジョン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

今期11Rは、リジョン編成に向けて、メンバーの理解と未来への前向きな対応をお願いしていきます。

12R 報告書

12R RC 平田 佳之

(質問1) 会員拡大について

(回答1) ゾーン内クラブ数 11クラブ

期首会員数	期末目標数	目標まで
567名	628名	あと43名

目標に対してどのように取り組んでいくのかご記入ください。

地区ガバナー方針を12リジョン各クラブに理解してもらい、1Z, 2Zゾーンチェアパーソンと協力し純増1以上を目指し各クラブで会員増強チーム結成していただき目標に向かっていきます。

(質問2) クラブ間の交流について

合同アクティビティや交流会など、会員拡大や退会防止につながる取り組みを計画していますか？

計画がない場合は、その理由は何ですか？

●12リジョン合同大和川・石川清掃、八尾中央LCボッチャ大会等

今年度B地区ではOSEALレオフォーラム、全国アラートセミナーが行われますので動員をお願いし全国のライオンズメンバーと交流を図ってもらう。

●目標でもいいましたが各クラブ会員増強チームで明確な目標設定、目標を抽象的ではなく具体的にチームで考えて進めてもらうようお願いする。

退会防止はクラブ内メンバー間の交流をお願いする。

(質問3) 他団体との協働について

連携や交流、情報交換をしている団体があれば、団体名とどのような交流を持っているかご記入ください。

また、今現在していなくても、今後連携できそう、或いは連携したい団体があれば記入してください。

地域で社会福祉協議会との災害協定、献血では日本赤十字社との連携があり、今後地域のニーズにあった団体などがあれば連携を推進していきたい。

(質問4) LCIFについて

ハート100キャンペーンを全クラブに協力してもらう為に、どのような取り組みをしますか？

また、レモネードの活用について具体的に活用できる場面をご記入ください。

●ハート100キャンペーンについては12リジョンでは協力的ですが今以上にお願いしていきます。

●ライオンズブランドのレモネード「レモノワ」をクラブ事業資金獲得、LCIFの寄付に繋がる事をリジョン内クラブに周知していただきクラブ行事、イベント等でライオンズクラブPRを兼ねて進めていきたいと考えます。

(質問5) その他

その他、ゾーン内クラブの課題や問題、特筆すべき事柄があればご記入ください。

●各クラブ年間を通じて多くのアクティビティを実施してるので会長・幹事も例年の事業実行に追われる状態が予想され、新しい取り組みにはクラブ連携やRC・ZCのサポートが必要。

●メンバーが少ないクラブに対して会員増強・人材育成に取り組んでいただけるよう働きかけをする。

みらいへ委員会

みらいへ委員長 北野 博

地区ガバナースローガン「奉仕の愛を拡げましょう～未来への架け橋～」に基づき 335-B地区の未来を模索しながら、より強固な組織にしていけるよう討議・活動してまいります。

会員が減少を続けている中、各クラブを強化するための方策を他委員会と連携・協力しながら進めてまいります。

みらいへ委員会の基本方針

1. 現在、空白となっている「3・4 リジョン」の問題を解決していきます。
2. 複合地区会則第13条の2に「ゾーンは通常4から8のクラブから成る」と定められております。それに基づき、ゾーン・リジョンの再編成ができるよう、働きかけていきます。
3. 会員数20人以下の少人数クラブに向けて、各委員会とともに対応を行っていきます。

GMT委員会方針

GMT委員長 河野尚樹

2025-2026 年度 地区ガバナースローガン

「奉仕の愛を拡げましょう ～未来への架け橋～」

ライオンズクラブの奉仕の灯を未来へつなぐため、GMT 委員会は本年度も地域に根ざした仲間づくりに取り組んでまいります。地区ガバナーが掲げられた「奉仕の愛を拡げましょう～未来への架け橋～」というテーマは、全会員にとってこれからの奉仕の在り方を優しく照らす光であり、私たちの行動の指針です。私たちが、これまで多くの先輩ライオンから受け継いできた奉仕の想いを、いかにして次の世代へとつないでいくのか。その鍵となるのが「仲間を増やす力」であり、「人を迎え、育て、支え続ける仕組み」だと考えます。現在、335-B 地区では、クラブ数の減少や会員の高齢化といった課題が深刻化しています。その中で掲げられた「MISSION1.5」や「チャレンジプラス1」の取り組みは、単なる会員数の増加を目的とするものではなく、クラブを未来へつなぐための前向きな一歩であり、地域社会に根ざした奉仕の継続につながる大切な取り組みです。本年度の GMT 委員会は、WYPT 委員会・GET 委員会と緊密に連携し、会員拡大・新クラブ・新支部の立ち上げ・会員定着の実現に向けて、“三位一体の支援体制”で力強く取り組んでまいります。

【今期の主な取組】

1. MISSION1.5 アンケートの継続実施と分析による戦略的なクラブ支援
RC・ZC・クラブとの会員拡大ミーティングの実施
2. WYPT・GET 委員会との連携による、会員拡大の進捗ミーティングの実施
(新クラブの結成・支部の結成、拡大・学生会員の増強)による会員拡大
3. プラチナ会員制度の促進とプラチナ会員交流会の実施 (2026 年 04 月開催予定)
4. 新会員同期会・交流会の実施 同期会 2 期生の発足
2025 年～2025 年上期 11 月予定 大阪・和歌山 開催
2025 年～2025 年下期 05 月予定
5. ASK1例会・アクティビティ実施の各クラブでの実施
※会員増強成功者の動画作成と各クラブへの配信等

WYPT委員会活動方針

WYPT委員長 森 口 美代子

奉仕の愛を拡げましょう～未来への架け橋～「チャレンジプラス1」

Women（女性）Young（若者）People（人々）Team（チーム）

335-B地区 初女性地区ガバナー誕生

女性だからわかるどんどん増えていく笑顔の奉仕

WYPT委員会では女性会員・クラブ支部会員の増強と活性化を支援します。

335-B地区2025年6月末は、5,726名の会員が在籍しており、そのうち女性会員は、1,517名（うち特典会員878名）26.5%です。

当地区初女性地区ガバナー誕生のもと女性会員の増強と女性視点のきめ細かな奉仕と活躍の場を広げ、また若手メンバーの発想を活かした新たな奉仕に協力します。

チャレンジプラス1

GMT・GET・WYPTの三位一体で取り組んでまいります。

WYPT委員会活動目標と内容

1. ミッション1.5 女性会員 30%以上増強
2. GMT委員会の連携による学生会員増強（国際会費25\$のみ）
3. 新クラブ支部・学生会員クラブ支部7支部結成 48支部→55支部以上
親クラブと支部クラブの合同例会・合同アクティビティの推奨
4. クラブ支部交流会の実施 2026年2月21日（土）予定
5. ヘアードネーション・レモネード活動の継続等

GET 委員会基本方針

GET 委員長 水落 健太郎

2025-2026年度 地区ガバナースローガン

「奉仕の愛を拡げましょう ～未来への架け橋～」

■GET 委員会方針

地区ガバナー方針を実現し、ライオンズクラブの未来を切り拓く為には、新たな仲間との出会いや新クラブの誕生（結成）が必要不可欠です。GET 委員会の行動方針として、既存のクラブと新クラブ、長年の仲間と新しい仲間との“架け橋”となり、地区ガバナーのスローガンを具体化してまいります。GAT チーム：GMT・WYPT/GLT/GST 各委員会と密に連携しながら、一步一步着実に取り組んでまいります。

■主な事業

1. 情報収集

- RC・ZC との連携を深め地区全体の情報収集/共有を行いつつ、空白地域の洗い出しや未結成の原因分析を行い考えます。
- その為にも地区全体での協力体制の構築を図ります。

2. 結成への計画書の策定

- 従来の型に捉われず、時代や地域に適した新しいタイプのクラブ結成を目指します。
- 例）共通の職業や趣味等で結成されたクラブ、若い世代を中心に結成されたクラブ等

3. 結成支援とフォローアップ

- 新クラブ結成支援チームを立ち上げ、ガイディング・ライオンと共に進めます。
- チャーターメンバー候補者が一定数集まった段階でチーム会合を行っていきます。
- 結成後も定着フォロー、GLT 委員会との連携を通じて教育体制の整備を遂行する。

4. Challenge+1 の達成

- 新クラブ結成に加え、会員拡大・奉仕活動・運営工夫・新しい情報のプラス1
- ライオンズメンバー全体の一步を踏み出すことで変化と活力向上を目指します。

■目標

335-B 地区において、新たに **3 クラブの結成** を目標とし、進捗状況についても定期的に共有し GAT チーム全体での情報共有と意識の統一を図ります。

GET 活動は、新クラブを結成したら「終わり」ではありません。新クラブが結成された時点がスタートラインであり継続的に奉仕を実践していく為にも結成後のフォローアップが極めて重要です。

GET 委員会は、新たに結成されたクラブと共に伴走しながら、共に喜び、共に悩む、そんな奉仕の絆を多くの仲間と分かち合う事を目指します。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

GLT委員会方針

GLT委員長 徳 原 安 洋

■委員会概要

- ビジョン（未来像）：未来への“架け橋”となる人材の育成
- ミッション（使命）：若手メンバーの意欲向上および退会抑止
- バリュー（行動原理）：「気づき」と「勇気」を与えるリーダーシップの実践
- 委員会方針（注力）：アウトプット重視＝学びプラス1

■主な事業

1. 新会員交流会・同期会の協同開催（GMT委員会をサポート）
2. 各リジョン主催 若手交流会の開催支援（要請があれば）
3. 新会員スクールの企画・運営（GST委員会と連携）
4. 次世代リーダー育成セミナーの企画・運営
5. 公認ガイディングライオンセミナーの開催（GET委員会と情報共有）

■運営方針

“架け橋”とは、異なる考えを持つ同士を結び付け、コミュニケーションを円滑にし、双方の理解を深め、協力関係を構築することを指します。

非暴力による公民権運動で有名な「キング牧師」は「人は橋を架けることによって壁を越える」という言葉を残しました。これは、愛と理解で人と人とを結びつけることが大切だというメッセージだと考えます。

国、社会、地域の単位それぞれに存在する壁。そしてライオンズクラブにおいて“壁”があるとすれば、それは何でしょうか？まず存在する“壁”について一人一人のライオンが理解を深めることで、架けるべき“橋”のイメージが湧いてくるはずです。そして“架け橋”となり得る人材こそが、より良い未来を作るリーダーとなるのです。

- ・これまで無かったアイデアで新しいアクティビティを生み出し実践する
- ・地域の皆さんにライオンズクラブのことをより深く知ってもらう
- ・地区での活動内容や想いを、クラブのメンバーに正しく知ってもらう
- ・自分自身の想いと、クラブの想いを融合させる

いずれも新しい景色が見え、世界が広がるきっかけになるはずです。

私たち、地域のリーダーに求められることは「気づき」と「勇気」を与えること。周囲に良い影響を与える人材とは、自身が「気づき」を得る向上心を持ち、チャレンジする「勇気」を出せる人でなければなりません。そして「ライオンズクラブ」は“手段”であって“目的”ではありません。「手段の目的化」に陥っていては、本来の「価値」を見失い、それでは『奉仕の愛』を拡げることはできないでしょう。

一人一人の架ける“橋”が創る“未来”を委員会メンバーと共に思い描く、そんな一年にして参ります。

■各事業について

1. **新会員交流会・同期会の協同開催（GMT委員会をサポート）**
 - 前年度に誕生した事業、入会年度別に会員交流を図る
 - 全3回を予定（①大阪 2025/11/17 ②和歌山 2025/11/22 ③2026/5/16）
2. **各リジョン主催 若手交流会の開催支援（要請があれば）**
 - RC・ZCから要請があれば対応、委員長・コーディネーター・対象地区委員が出席
3. **新会員スクールの企画・運営（GST委員会と連携）**
 - 地区内の入会3年未満の未受講新会員が対象
 - 意欲向上と促進を目的に3会場でセミナーを開催、講師は地区委員が担当
（大阪北＝1・2・5・6R、大阪南＝7・11・12R、和歌山＝8・9・10R）
 - GST委員会と連携し、優良奉仕事例について知ってもらう
 - 懇親会で交流を図りながら、新規アクティビティ案を発表するワークショップ実施
 - 開催時期は1月末～2月中旬までを想定
 - 将来的には、各リジョンが主体となって開催できるよう、段階的に移行したい考え
4. **次世代リーダー育成セミナーの企画・運営**
 - 第15期生、各ゾーンより将来のリーダーとして期待される方1名を募集
 - 55歳以下の方を優先（入会歴は不問）
 - 1年で全5回のセミナーを実施（第1回は9月、以降奇数月に実施）
 - 未来への“架け橋”となる人材育成をテーマに設計
「BRIDGE」＝①Begin（出会い）②Rise（立ち上がる）③Inspire（影響を与える）
④Deliver（届ける）⑤Grow（発展）…epilogue（終わりと始まり）
 - 他委員会に協力依頼、活動発表の場を設け地区活動について知ってもらう
 - 受講生を5つのチームに分け、そこに地区委員が2名ずつ参加
 - セミナーの各回ではワークショップと発表の時間を設け、地区委員がサポート
 - チームの受講生から幹事を1名ずつ決定し、懇親会の設営などに協力してもらう
5. **公認ガイディングライオンセミナーの開催（GET委員会と情報共有）**
 - 新規結成クラブ、既存クラブ、再建に取り組んでいるクラブを支援するための資格
 - 1名で担当できるクラブは2つまで、資格の有効期限は2年間
 - 開催時期や方法、対象者をキャビネットと協議中

GLT・会則委員会 2025-26 年間スケジュール

2025年		2026年											
事業名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
委員会	11(水) 15:00-17:00		5(火) 14:00-17:00		14(火) 15:00-17:00		16(火) 15:00-17:00		24(火) 15:00-17:00		14(火) 15:00-17:00		8(月) 15:00-17:00
キャビネット会議 (地区委員参加)		29(火) 14:00-17:00											5(金) 14:00-17:00
次世代リーダー育成セミナー				12(金) 13:00-17:00		13(木) 14:00-17:00		19(月) 14:00-17:00		16(月) 14:00-17:00		14(木) 13:00-17:00	
新会員スクール (GST委員会と連携)								23(金) 26(月)	13(金)	← 大阪北・大阪南・和歌山の3会場で実施 会場・時間・場所については今後、委員会で協議			
新会員同期会 (GMT委員会をサポート)						17(月)大阪 22(土)和歌山						16(土) 場所未定	
公認ガイディングライオンセミナー (GET委員会と情報共有)	時期・対象者・場所など協議中												

会則委員会活動方針

会則委員長 藤岡 宗

奉仕の愛を拡げましょう

～未来への架け橋～

「われわれは、知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」

ライオンズクラブの誇りと責任を表す言葉ライオンズの誓いを引用させていただきました。

友情と相互理解の絆によって共に助け合い、共に成長し、共に未来へつなぐ

クラブがより一層発展するように取り組んで参ります。

活動目標

1. 会則例会開催のお願い

各クラブ「ライオンズのでびき」と「ライオンズ必携」を活用していただき、ライオンズクラブの目的。ライオンズクラブの組織・運営並びに歴史を。そして所属クラブの創立とその生い立ちを自クラブのレジェントメンバーと一緒に学んでいただけたらと思います。

2. クラブ内規の再確認やクラブ結成へのサポート

「Your Club Your Way!」（あなたのクラブはあなたのやり方で）

- ・現状のクラブ運営にあっている内規だろうか？
- ・会員のニーズにあわせた有意義な例会が開催されているだろうか？
- ・みらいへ委員会・GET 委員会と連携し、クラブの相談窓口として寄り添いサポートしてまいります。

3. GLT 委員会と共に協働し、セミナーをサポートいたします。

- ・新会員スクールの開催
- ・次世代リーダー育成セミナーの開催
- ・公認ガイディングライオンセミナーの開催

我々ライオンズクラブのアクティビティは、クラブがチームワークを発揮して行うことにより、また同一地域のクラブと協力することによってさらに有意義になり、効果を収めることができます。

これが私たちライオンズクラブのモットー We Serve（我々は奉仕する）です。

GST 委員会 方針

GST 委員長 松本直樹

2025-2026 地区ガバナーズローガン

「奉仕の愛を広げましょう～未来への架け橋～」

ライオンズクラブも大きく様変わりしてきています。個々のライオンズクラブの成り立ち、メンバーの若返り、ベテランメンバーさえも意識の若返り、時流に乗った運営のやり方、今までには考えられなかったような新しい奉仕活動の取り組み。確実にライオンズクラブは進化し続けていると感じます。奉仕の方法、アイデアはまさに無限にあります。私たちは地域に密着しながらも、情報発信は拡く、素早くが可能になり、世界中にも届けられる時代となりました。奉仕活動の新たな可能性を考え、より多くの情報を発信していけるようにします。一つの奉仕活動が、次なる奉仕活動に繋がっていく、そんな活動が理想です。

奉仕活動そのものがライオンズクラブの使命であり、存在意義であります。奉仕活動を通じてライオンズクラブそのものをさらに PR し、将来、メンバーになりたい方々を巻き込んでいきたいです。ライオンズクラブのロゴを見ただけで安心感と信頼感を得られる、GST 委員会として、そんなクラブになれるように努めてまいります。

まずは、委員会の親睦と信頼関係を築きたいです。

GST 委員会としての主な取り組み

- 1) 奉仕活動の情報収集とライオンズクラブ内での共有、及び世間へのアピール
- 2) ライオンズクラブ内での骨髓バンク説明員の増大（100名）、現状の把握
- 3) 献血活動の推進、情報を吸い上げ、クラブ内での共有
- 4) GLT 委員会と協力して活動
 - ・次世代リーダー育成セミナーで講義（11/13）
 - ・新会員スクール（大阪北、大阪南、和歌山、三箇所開催）で講義
- 5) GST 委員会として世間に PR できるイベント開催

LCIF委員会方針

LCIF委員長 岡田 一平

◇ 奉仕の愛を拡げましょう～未来への架け橋～ ◇

ひとりでできることはほんのわずかです。クラブの力を合わせれば多くのことができます。

LCIFと力を合わせればメンバーの奉仕の力は**無限大**です。LCIFを深くご理解いただければ、より一層多くのことが実現できます。LCIFは地域貢献にインパクトを与え、ライオンズクラブ国際協会として**世界に繋がる唯一の奉仕活動**です。

LCIFは《寄付金を使う事と寄付をすること》の両面を持っています。

皆様のご協力により335-B地区では寄付金0クラブが無い状況を引き続き維持して寄付を募りたいと思っております。また今後も寄付金を使う事（シェアリング交付金等）を拡げたいと考えます。

今期から新しい取り組みとして、**ライオンズブランドのレモノワ**によるファンドレイジングが開始しますので、地区ガバナースローガンのチェンジプラス1としてクラブのアクティビティ活性化に繋げてください。

今期LCIF委員会としての寄付目標額は**90万ドル**です！

LCIFへのご協力が**0（ゼロ）**のクラブが無いよう、ご協力をお願いいたします

皆様におかれましては以下の**4項目**をお願いいたします。

- ・**ハート100**（会員ひとり当たり100ドル以上の寄付）
各クラブメンバー100%のご協力をお願いいたします。そして、累進MJFに繋がるための情報提供、詳細について委員よりご説明いたします。
- ・**ライオンズレモネード**
335-B地区として初めての挑戦、ライオンズブランド「レモノワ」販売を通じてのファンドレイジングへのご理解とご協力により、販売の一部をLCIFに対しての寄付金といたします。クラブ活動の活性化の一助として役立ててもらえたらと思います。
- ・**MJF**
各クラブ最低1名以上のご協力をお願いできればと思います。特に地区役員、地区委員、クラブ役員におかれましては率先してご協力賜りますようお願い申し上げます。
- ・**クラブシェアリング交付金の活用**
各会計年度において、5,000ドル以上の無指定寄付（災害指定を除く寄付）に対し、翌年度にその寄付額の15%が交付可能金額となります。クラブシェアリング交付金を活用したアクティビティの実施をお願いいたします。

その他

- ・**企業寄付の推進**
企業寄付1口は1,000ドルまたは10万円です。
- ・**チャリティーオークションの開催**
LCIFセミナーの開催時に、クラブ内参加者各1人につき1個をご持参いただき、3,000円～10,000円で競り落とされる商品をご持参ください。
（落札価格はクラブ寄付にまわります）

* LCIFの重要性、活用の仕方をご理解いただくために訪問も可能です。

LCIF委員が説明員として伺いますので、事前の日程調整をお願いいたします。

* 「LCIF Japan」<https://lcif.jp/>のサイトにある各種資料をご活用ください。

MC 委員会方針

MC 委員長 西川 聡

2025-2026 年度 地区ガバナースローガン

「奉仕の愛を届けましょう ～未来への架け橋～」

MC（マーケティング・コミュニケーション）委員会は、335-B 地区におけるライオンズクラブの奉仕活動や理念を、タイムリーかつ効果的に発信し、地域社会とのつながりを深める役割を担います。

本年度は、SNS やアプリなどのデジタルツールを活用し、クラブの活動内容をわかりやすく、親しみやすい形で伝えていくことに重点を置きます。視覚的な情報発信や共感を呼ぶ表現を通じて、ライオンズの存在価値を多くの人々に届け、地域や若い世代との新たな接点を広げていきます。

発信のひとつひとつが、奉仕の輪を広げるきっかけとなるよう、正確で魅力ある情報提供を心がけ、地区全体の一体感と活動への参加意欲を高めてまいります。

【主な委員会活動】

○広報誌「ゆうあい」の充実

地区ガバナーをはじめ役員紹介。

各クラブの活動を写真とともに紹介し、読み応えと親しみやすさを両立。

地区の一体感と誇りを育む誌面づくりを意識し Web 版で発行します。

○国際平和ポスター・コンテスト 今年度テーマ「ひとつになって」

子どもたちの描く「平和の願い」を単なる作品として終わらせず、作品に込められたメッセージを社会へ届け、地域全体で平和への意識を高める広報に取り組みます。

○SNS を活用したライオンズクラブの活動を PR

Facebook・Instagram などの SNS を活用し、即時性と拡散力を活かした発信。

地区アプリを活用し、行事案内や報告を手軽に共有できる仕組みを推進します。

○地区アプリの活用推進

地区アプリについては、みんながもっと使いたくなるようなアプリ環境を目指して改善していけたらと考えております。

○LINE グループの活用

各クラブの MC 担当者同士で LINE グループを作り情報交換・共有の場として活用していきます。

アラート委員会方針

アラート委員長 坂 井 征 司

地区ガバナーズローガン 「奉仕の愛を拡げましょう ～未来への架け橋～」
 アラート委員会方針 「自分ごととして防災意識を高め、支援の愛を拡げる」

災害大国である日本。近年では「令和6年能登半島地震」、2016年に起きた熊本地震、2011年の東日本大震災。甚大な被害を出した災害が続けて起こっています。そんな中、我々が住む近畿圏では近い将来「南海トラフ地震」が発生すると言われています。自分たちが被災した時、命を守る為の適切な行動を取れると自信を持って言える方がどれくらいいるのでしょうか。自分ごととして災害を捉え防災に対する知識・意識を高めることがこれからは必要不可欠であると考えます。

【今期事業計画】

(1) 災害に対する備え

1. 防災士会等との連携による防災意識の醸成

- ・災害時に被害を最小に抑えられるかは災害に対する知識と防災の備えに懸かっています。防災士会と連携することで防災に対する意識を高め、自身も防災士として活動できる「助けられる人材から助ける人材」を育成致します。

2. 335-B地区の備蓄倉庫設置の検討

- ・災害発生時に必要な物資を常時備蓄しておくことで、迅速に災害支援を行うことができます。また、平時は備蓄品を使って災害時ボランティア活動のロールプレイングを行うことも可能となります。

3. 緊急連絡網の整備・構築

- ・安否確認はもちろんのこと、支援活動を行う際にも連絡網の整備は最優先の課題であると考えます。単年度制であるライオンズでどのような連絡網を構築していくことが最適かを考え実行致します。

(2) 335-B地区内全社会福祉協議会との100%災害時支援協定の締結をめざす

1. 支援協定空白地を埋め、社協との綿密な関係を構築する

- ・過去アラート委員会が推進している地区内全社協との連携協定の締結を目指すとともに、より一層の関係性構築を目指し災害発生時に円滑な人道支援を行える体制づくりを行う。

(3) 令和6年度能登半島地震への継続支援

1. 現地ボランティアとなり、復興支援を行う

- ・現地社協のボランティアセンターは閉鎖されますが、まだまだ人手が必要とされるボランティア活動が多く存在しています。現地アラート関係の方々と連携し復興支援を行ってまいります。

2. 現地行政と連携し災害ごみの有効活用

- ・前委員会は瓦礫の撤去を行いました、今期は行政等と連携し廃棄木材等をバイオマスとして活用し再生エネルギーを創出することで被災地の財政にも環境にも配慮した Win-Win の関係性の架け橋となることを目指します。

(4) 地区内児童にいのちを守る防災グッズの寄贈

1. L C I F の防災準備交付金や地区シェアリング交付金を活用

- ・近い将来に起こるであろう南海トラフ地震等の災害が起こった際に生存確率を少しでも上げる為に、335-B地区で生活している児童に向けて防災グッズを寄贈することで防災に対する意識を高めてもらいます。

(5) 災害支援・事業活動準備資金の活用方法の明文化

1. 現資金の利用方法の見直し・規約化

- ・決まり事を規約化し、5W1H（いつ誰がどこで何をどのように）を明確にし資金を有効活用できる体制作りの構築を行う。

【各クラブへのお願い】

1. 緊急連絡網（LINEグループ等）の構築
2. 緊急支援準備金の設定
3. クラブ内アラート委員会の設置
4. アラート例会の開催
5. 各クラブと地元社会福祉協議会との災害支援に関する連携協定

アラートとは、「警報・警戒」という意味の他に、「注意を払う」「機敏な行動」という意味もあります。今期アラート委員会では、継続的な災害の復興支援で支援の愛を拡げて行くとともに、災害が身近で起こった場合を想定し自分ごととして防災意識を高める施策を「機敏な行動」で行ってまいります。

ライオンズクエスト委員会方針

ライオンズクエスト委員長 木 田 剛

子どもたちの未来にライフスキルを ライオンズがつなぐ学校と地域の未来への架け橋

子どもたちを取り巻く環境は、インターネット・SNSの普及、家族構成の変化、地域社会とのつながりの希薄化により、社会性を学ぶ機会が減少してきました。そんな中、自分の感情を理解、表現し、他者と関わる力（ライフスキル）を身につけることが今や不可欠となってきました。まさにライオンズクエストプログラムを通じて教育現場の課題に応え、子どもたちの心の健康、そして未来の可能性を支えていく必要があると考えます。

そのために、まずは各クラブでの例会訪問、各地域での教育委員会、校長会等でのプレゼンを行い、ライオンズクエストプログラムを各クラブの皆様をはじめ、地域の方々に広く理解を深めていただくことで、各学校でのワークショップ、セミナーへの開催へとつなげていきます。さらに、ライオンズクエストプログラムに対するさらなる理解、共感をもっていただくためにワークショップを受講していただいた方向けにフォローアップセミナーを開催します。また、ライオンズクエスト出前授業を開催し、教育現場に携わる方々にライオンズクエストプログラムの良さを感じていただき、ワークショップ受講につなげていくことを目指します。そして、ライオンズクエスト説明員の養成を通じて、このプログラムを青少年育成の大きな拡がりを生むきっかけとし、レオクラブやライオンズクエスト説明員連絡協議会と連携して、学校外での地域の子どもの育成に関わる団体の皆様と奉仕の輪を拡げ、ライオンズクエストプログラムの普及に努めると同時に奉仕のファンを増やしていきます。

我々一人一人がライオンズクエストプログラムに共感し理解を深めることは地域の共感を生み出すことにつながり、学校現場だけでなく地域においてもライオンズが未来への架け橋となり、様々な場面で奉仕の愛を拡げ、子どもたちが自分らしく、健やかに、たくましく生きていける社会を実現します。

- ・ライオンズクエストワークショップ開催支援、次年度開催に向けての支援
 - 7/22（火）柏原LC 柏原市内小・中学校 ワークショップ（基本編）
 - 7/22（火）寝屋川中央LC 寝屋川市立木田小学校 ワークショップ（基本編）
 - 7/24（木）25（金）交野おりひめLC 交野市内小・中学校
 - ワークショップ（基本＋実践編）
 - 7/30（水）31（木）枚方5LC合同 枚方市立枚方中学校
 - ワークショップ（基本＋実践編）
 - 7/31（木）松原LC 松原市立小・中学校 ワークショップ（基本編）
 - 7/31（木）8/1（金）大阪狭山LC 大阪狭山市立小・中学校
 - ワークショップ（基本＋実践編）
- ・ライオンズクエストセミナー開催支援、次年度開催に向けての支援
- ・ライオンズクエストフォローアップセミナーの開催
- ・ライオンズクエストプログラムの周知
- ・ライオンズクエスト説明員の養成
- ・ライオンズクエスト説明員連絡協議会との緊密な連携
- ・ライオンズクエスト出前授業の実践（Challenge+1）
- ・地域の子ども食堂や子ども第三の居場所等でレオクラブやライオンズクエスト説明員連絡協議会と連携しライオンズクエストプログラムを実践（Challenge+1）

薬物乱用防止委員会方針

薬物乱用防止委員長 栗 山 大

薬物乱用は日本全体において根治は困難であり、社会全体に大きな悪影響を及ぼしています。本人の健康は勿論、乱用者から乱用者への増大、家庭やコミュニティ崩壊につながり、軽い気持ちからの使用が取り返しのつかない事態を招いてしまいます。

私たちライオンズクラブが出来ることは、そういった事態の収拾ではなく、未然に乱用者を増やさせない活動の手助けです。乱用者になってしまうと、具体的には身体への影響の他、高額な薬物の購入・危険な繋がり・危険な繋がりからの危険な誘い・乱用者として認識されることによる社会的制裁。数えきれないリスクがあるにも関わらず、無知であることにより乱用者になってしまう現実があります。すぐそばに存在する危険な薬物や誘い込もうとする手口は益々巧妙化しており、スマホ経由の手口により、低年齢層でさえも魔の手に絡めとられている現実があります。

この現実の中で335-B地区では薬物乱用防止の活動を、自分には関係ない事だと考える子ども達のために、いかに恐ろしくて身近に迫る怖い事であるかを伝える使命をライオンズムにおぼえ、実行しています。今年度地区ガバナーズローガン『奉仕の愛を掲げましょう～未来への架け橋～』に呼応し、子どもたちの素晴らしい未来を邪魔することをゼツタイに許してはなりません。

薬物乱用防止委員会としては、その使命を実行し続けることにより、子どもたちの知識をアップデートさせます。子どもたちの明るい未来を薬物乱用などに壊させてはならないのです。薬物乱用防止委員会としては『ダメ。ゼツタイ。』を合言葉に、地区の広域に更なる啓発活動を実施する目標を掲げます。具体的には、昨年同様に①薬物乱用防止教育認定講師の増強②各地域の薬物乱用防止教室・啓発活動の実施を行ってまいります。

① 薬物乱用防止教育講師養成講座

地区ガバナーが掲げておられる『Challengeプラス1』に共鳴し、薬物乱用防止委員会では養成講座を『プラス1』します。

これまで1年に1回、ライオンズ会員による小中学生への薬物乱用防止教室実施の為に講師を養成してきました。昨年度までは大阪会場にて1年に1回の開催ではありましたが、今年度は和歌山会場と大阪会場の2か所で開催し、335-B地区においてより広域の活動が出来る布石を打ちます。講座の対象者は正会員のみならず、支部会員や特典会員も含めて広く募集します。養成講座は昨年同様に12月を予定。大阪・和歌山で各1日ずつの実施を計画します。

② 薬物乱用防止教室・薬物乱用防止啓発活動の実施支援

薬物乱用防止教室はライオンズクラブの他にも様々な団体で実施されています。ライオンズクラブが実施する優位性は、社会経験が豊富な人材が揃っているという事です。もちろん、警察関係者や薬剤師、法曹の専門性を有しているわけではありません。専門性の高い内容については、啓発DVDや養成講座により各自高めることは可能です。

各クラブがすでに実施している平和ポスターの依頼、スポーツ大会の打ち合わせ等に合わせ、教室や啓発活動へのお誘い声掛けを促す地道な活動が、この委員会が担う大きな役割になります。

【YCE(Youth Camp & Exchange)とは】

青少年に国際交流の機会を提供するライオンズクラブの中核事業の一つです。異文化体験を通じて友情を育み、国際的な相互理解と平和の促進を目指します。

1. 基本方針

本年度の YCE 活動は、「日本の伝統と歴史を伝える」「日本人としての誇りを育む」をテーマとし、国内外の青少年交流を通じて真の国際親善と友情を築きます。

2. 活動目的

- 日本の伝統・文化・歴史に対する理解を深め、日本人としての良さを海外に発信する。
- 青少年が異文化を理解し、国際的な視野を広げ、広い心と友情を育む。
- 海外派遣生には、日本人としての誇りと責任感を持たせ、現地で親善大使として活動してもらう。
- 受入生には、日本の魅力を体感する機会を提供し、日本人との心温まる交流を実現する。

3. 具体的な取組み

- 事前研修の充実
 - 派遣生に日本文化・歴史・礼儀作法・ホスト国事情を学ばせ、派遣先での PR 活動を後押しする。
- 受入プログラムの工夫
 - 受入生に対して日本文化体験(和食・書道・茶道・神社仏閣見学など)の機会を提供する。
- 交流活動の活性化
 - 派遣・受入後も継続的な交流を促進し、友情を深める取り組み(SNS 交流・報告会等)を行う。
- 地域との連携
 - 地域社会と連携し、日本文化の紹介イベントや歓迎会を充実させる。

4. 委員長メッセージ

YCE 活動は、単なる観光体験ではありません。皆さん一人ひとりが“日本の顔”として、誇りと責任を持って日本の良さを世界に発信してください。受入生には、心をこめたおもてなしを通じ、日本の伝統と日本人の温かさを届けましょう。未来を担う皆さんの友情と交流が、世界の平和と理解にきっとつながっていきます。

別添資料ご参照ください

第41回日本国際ユースキャンプ(おにぎりキャンプ)行程表
2025/7/20(日)～7/27(日)

2025.7.25現在

	日付	研修・活動内容	備 考
1	7/20 (日)	午後:オリエンテーション、ウェルカムパーティー 夜:プレゼンテーション	
	宿泊	八尾グランドホテル 八尾市八尾木北5-101	072-994-3591
2	7/21 (月)	午前:広島へ移動 午後:広島平和記念資料館 夜:平和討論会・プレゼンテーション	
	宿泊	ホテルエスプル広島平和公園 広島市中区小町3-17	082-541-5555
3	7/22 (火)	午前:宮島 午後:大阪へ移動 夜:プレゼンテーション	
	宿泊	ロッジ舞洲 大阪市此花区北港緑地2-3-75	06-6460-6688
4	7/23 (水)	午前:USJ 午後:USJ 夜:プレゼンテーションなし	
	宿泊	ロッジ舞洲 大阪市此花区北港緑地2-3-75	06-6460-6688
5	7/24 (木)	午前:ブルーベリーファームみさき 午後:昼食(薬膳カレー・おにぎり体験)・西林寺 夜:プレゼンテーション／カラオケ	
	宿泊	龍宮館 大阪府泉南郡岬町淡輪838-8	072-494-3011
6	7/25 (金)	午前:和歌山へ移動 午後:白良浜(海水浴) 夜:プレゼンテーション	
	宿泊	白浜の宿醍醐 和歌山県西牟婁郡白浜町1384-18	0739-34-8001
7	7/26 (土)	午前:道成寺説法 午後:昼食(道成寺あんちゃん)・犬鳴山修験道体験 夜:プレゼンテーション	
	宿泊	み奈美亭 泉佐野市大木2236	072-459-7336
8	7/27 (日)	午前:フェアウェルパーティー(受付12時 12:30-14:30) パーティー終了後、解散	会員登録料 ¥10,000
	宿泊	ホテルモントレ ラ・スール大阪 大阪市中心区城見2-2-22	06-6944-7111

レオ委員会活動方針

レオ委員長 山田 泰弘

地区ガバナースローガン「奉仕の愛を拡げましょう～未来への架け橋～」を
基本理念としてライオンズクラブとレオクラブが相手を大切に思い
尊重しあえる関係を構築します

「Leadership（指導力）、Experience（経験）、Opportunity（機会）」を
コンセプトにレオは、様々なアクティビティを実現させる献身的な若者達です。

世界150カ国以上の国と地域をまたぎ、700以上のクラブと20万人以上のレオが
存在します。レオクラブとライオンズクラブは互いを尊重し合う力強いパートナーシップ
を築き上げています。この協力関係を通じて、ライオンズとレオは相互的に新しい視点を教
わり、レオクラブは何十年もの間奉仕してきたライオンズクラブの精神を学び活用します。

335-B地区内には5つのレオクラブが存在します。2025年6月末は和歌山レオ
クラブ9名（9R1Z）、大阪志学台レオクラブ17名（12R2Z）、枚方レオクラブ38
名（6R枚方LC）、八尾レオクラブ8名（12R八尾LC）池田レオクラブ12名（5R池田
LC）合計84名です。

各クラブの構成メンバーは学生から社会人で18歳～30歳のオメガレオクラブです。
多様な構成メンバーと地域性を生かした様々なアクティビティをしています。

★3つの活動方針

- ①第6回OSEALレオフォーラム大阪（2025年11月7日～9日）の準備と活動
- ②ライオンズクラブとレオクラブとのパートナーシップ構築
- ③奉仕活動のための資金獲得アクティビティ

①第6回OSEALレオフォーラム大阪（2025年11月7日～9日）の準備と活動

日本で初のOSEALフォーラム開催となり、オセアル地域から100名を超えるレ
オメンバーが来日する予定です。

ホストは335複合地区となり、実行委員会は各レオクラブから選出された構成員で
レオメンバーが主体となり、様々なアクティビティを計画しております。

当地区としましては、レオメンバーと地区YCE・レオ委員と共に各リジョン・チェア
パーソンまたは各ゾーン・チェアパーソン所属クラブに訪問し、開催に際してのご協力の
お願いをいたします。

②ライオンズクラブとレオクラブとのパートナーシップ構築

前年度より引き続き、地区YCE・レオ委員が所属リジョンまたは担当レオクラブの例会訪問やアクティビティに参加していただき、各レオクラブ顧問と共にレオクラブの活動を見守りながら支援していただきます。

スポンサークラブの例会訪問もしていただくとより一層レオクラブとライオンズクラブの関係性も良くなりシナジー効果もあると思います。

③奉仕活動のための資金獲得アクティビティ

奉仕活動にはライオンズクラブと同様に活動資金が必要です。

レオメンバーは会費を支払っていますが、若年層が主体となりますので多額の会費は支払うことが出来ません。勉強にもお金が必要なためスポンサーライオンズクラブ及び所属リジョン、ゾーンからの資金援助により活動及び運営が成されています。

ライオンズクラブでは当たり前の事ですが、出来るだけ自分達の活動資金は自分達で稼ぐという考えとお金の大切さを学ぶためにチャリティーバザー等の資金獲得アクティビティを実施します。

2024～2025年度 335-B地区 各レオクラブ会員移動状況

レオクラブ名 アルファ・オメガ (結成日)	スポンサー ライオンズクラブ名	会 員 数													
		期首	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減
和歌山 オメガ (1980. 6. 15)	9R1Z 3クラブ 代表:和歌山中央ゴールド	14	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	▲ 5
大阪志学台 オメガ (1991. 5. 30)	12R2Z 6クラブ 代表:河内長野	30	30	30	31	31	31	31	31	24	19	17	17	17	▲ 13
枚方 オメガ (2015. 8. 11)	枚方	47	44	45	45	46	45	46	41	40	40	40	38	38	▲ 9
八尾 オメガ (2016. 1. 27)	八尾	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	8	4
池田 オメガ (2024. 7. 17)	池田	-	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	16	12	12
5レオクラブ	スポンサークラブ 12クラブ	95	97	97	98	99	99	100	96	88	83	81	83	84	▲ 11

*年齢区分:アルファ(12歳～18歳)・オメガ(18歳～30歳)

ライオンズ慰霊委員会 運営方針

ライオンズ慰霊委員会 江川 弘章

50 年の歴史を重ねるライオンズ慰霊祭も本年度で第 51 回となります。

335-B 地区初めての女性地区ガバナーとなる L 笹部美千代の下、新たな運営をしていきたいと思います。

先輩ライオンへの敬意と感謝を込めて、2026 年 5 月 24 日（日）高野山大霊園内ライオンズ慰霊碑前にて執り行なう予定で準備を進めていきますので、地元 伊都高野山 LC、委員会の皆様又キャビネット役員様の御協力、御支援のほど宜しくお願い致します。

国際関係・大会参加委員会方針

国際関係・大会参加委員長 高松 順一

地区ガバナースローガン「奉仕の愛を拡げましょう ～未来への架け橋～」

今年度も地区ガバナースローガンのもと、“国際協会”をご理解いただき、多くのメンバーの皆様へ各大会への登録および参加を呼び掛けてまいります。

第106回国際大会（オーストラリア・メルボルン）、第61回OSEALフォーラム（タイ・パタヤ）は、335-B地区からも多くの参加者にご協力いただき成功裏に終わりました。

第107回国際大会は、当初予定のメキシコシティからフロリダ州オーランドに開催地を変え、2025年7月13日（日）～7月17日（木）に開催されました。こちらも大変遠方ではありましたが多くのメンバーの皆様にご登録・ご参加をいただき、また335複合地区合同晩餐会にもご出席いただきました。

第62回OSEALフォーラムは会場を日本・札幌とし、2025年10月23日（木）～10月26日（日）に開催予定です。こちらは日本開催になりますので、現時点で多くのメンバーの皆様のご登録により盛況が予測されています。（41年ぶりの北海道開催）晩餐会の予定等、確認ができ次第、早めのご案内を努めてまいります。（地区ガバナー晩餐会10月24日予定）

下記に記載の今後の各大会に、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

335複合地区で国際姉妹提携しておりますMD300A（台湾）は、今年度は台湾にて開催される予定です。

OSEALフォーラム

第62回	2025年10月23日～26日	日本・北海道
第63回	2026年11月12日～15日	マレーシア・ペナン
第64回	2027年	香港
第65回	2028年	台湾・台中

国際大会

第107回	2025年7月13日～17日	米国・フロリダ州・オーランド
第108回	2026年7月3日～7日	香港
第109回	2027年7月2日～6日	米国・メリーランド州・ワシントンDC
第110回	2028年6月23日～27日	シンガポール
第111回	2029年6月29日～7月3日	米国・ミネソタ州・ミネアポリス
第112回	2030年	米国・テキサス州・サンアントニオ
第113回	2031年	フィンランド・ヘルシンキ

※第108回国際大会は、米国・ジョージア州・アトランタでFIFAワールドカップが同時期に開催されるため香港に変更となっています。同時に第63回OSEALフォーラムは同年国際大会が香港で開催されるためマレーシア・ペナンに変更になっています。

※OSEALとは、Orient and Southeast Asian Lions の略で東洋東南アジア・ライオンズを意味します。

年次大会委員会

年次大会委員長 竹本 泰三

2025-2026年度 地区ガバナースローガン

「奉仕の愛を拡げましょう ～未来への架け橋～」

ーチャレンジプラス1ー

年次大会委員会では、本年度335-B地区初の女性地区ガバナー誕生と地区ガバナースローガンとなります「奉仕の愛を拡げましょう ～未来への架け橋～」ーチャレンジプラス1ーとして、地区ガバナーの集大成となります2026年4月の335-B地区 第72回年次大会では、今までの大会にないーチャレンジプラス1ーを企画し、たくさんの皆様にご参加していただきたいと考えております。

そのためには、委員会の性質上、企画、準備、運営、実施には、各委員会、協力クラブの皆様、335-B地区のライオンズクラブの全メンバーの皆様のご理解とご協力を賜りませんと大会の成功はないと思っております。

大きなチャレンジをしておりますが、私一人では何もできません。335-B地区のライオンズクラブの皆様には、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

『335-B地区 第72回年次大会』日程及び大会会場（予定）

大会日程：2026年4月25日土曜日

大会会場：年次大会／グランキューブ大阪（大阪国際会議場）

晩餐会／リーガロイヤルホテル大阪